

嘉手納町子ども実態調査(小・中学生、保護者)
調査結果概要報告書

平成 29 年 3 月
嘉手納町

目 次

1. 調査手法	1
2. 回答者の属性	2
3. 調査概要	3
【小・中学生】	
(1) 将来の夢	3
(2) 自分が使うことのできる物品の所有状況	4
(3) 友達との関係	6
(4) 食事を一緒に食べる人（複数回答）	8
(5) 学校生活について	10
(6) 学校の授業でわからないこと	13
(7) 自分への思い	13
(8) 不安、心配事	16
【保護者】	
(1) 家族構成	17
(2) 就学援助制度の利用状況	17
(3) 子どもにしてあげていること	20
(4) 子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか	22
(5) 地域や社会との関係	24
(6) 健康状態について	26
(7) 過去 1 年間で子どもを病院に受診させた方が良かったが、 させなかったことはあるか	27
(8) あなたの 15 歳頃の暮らし向き	28
(9) あなたの現在の家庭の暮らし向き	28
(10) あなたの家庭の家計の状況	29
(11) 食料や衣料が買えなかった経験	29
(12) 過去 1 年間で経済的な理由により月々の料金の支払いが できなかったことがあるか	31
(13) 過去 10 年間に電気、ガス、水道を止められたことがあるか	34
4. 嘉手納町子ども調査に関する考察	35
(1) 小・中学生	35
(2) 保護者	36

1. 調査手法

〈目的〉

- ・沖縄県が平成 27 年 10 月に実施した沖縄子ども実態調査と同様な内容で、嘉手納町子ども実態調査を実施し、沖縄子ども調査（調査結果概要）平成 28 年 3 月 25 日と比較するとともに、本町の子どもの実態を把握することを目的とする。

〈調査対象者〉

- ・嘉手納町内の小学校 2 校の 4 年・5 年・6 年生の児童全員（454 人）とその保護者及び、中学校 1 校の 1 年・2 年・3 年生の全生徒（474 人）とその保護者を対象とした。

〈調査期間〉

- ・小学校：平成 28 年 12 月 12 日～平成 28 年 12 月 27 日
- ・中学校：平成 28 年 12 月 9 日～平成 28 年 12 月 26 日
- ・小学校保護者：平成 28 年 12 月 12 日～平成 29 年 1 月 18 日
- ・中学校保護者：平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 1 月 18 日

〈調査手法：学校に協力を依頼し、調査の実施及び配布回収を行った〉

①小・中学生

- ・学級単位で、学級担任又はそれに準ずる方の基で調査を実施、書き終えた調査票は、個々の配布・回収用封筒に入れテープで封印し回収。（自宅等には持ち帰らない）
- ・調査票は無記名式。

②保護者

- ・学校から児童を通して保護者へ配布、書き終えた調査票は配布・回収用封筒に入れテープで封印し学校で回収。保護者へは、調査の性質上子ども的人数分の調査票が配布されるが、子ども的人数分の調査票を回答するかについては保護者に一任。
- ・調査票は無記名式。

〈回収状況〉

- ・小・中学生へアンケートを実施した結果、小学生 443 人、中学生 425 人、計 868 人の回答を得た。回答率は、小学生 97.6%、中学生は 89.7%と小学生の回答率が高い。
- ・保護者は、小学生 335 人（回収率 73.8%）、中学生 235 人（回収率 49.6%）と中学生保護者の回収率が低くなっている。

		配布件数	回収件数	回収率
小学生	子ども	454	443	97.6%
	保護者	454	335	73.8%
中学生	子ども	474	425	89.7%
	保護者	474	235	49.6%

〈集計分析方法〉

- ・4 年、5 年、6 年生は小学生として集計、1 年、2 年、3 年生は中学生として集計、小学生と中学生を対比し分析を行った。また、「沖縄県子ども調査結果概要版（平成 28 年 3 月）」のデータを用い県との比較を行った。

2. 回答者の属性

嘉手納町内の小・中学生へアンケートを実施した結果、小学生は 443 人の回答があり男子 49.4%、女子 48.3%であった。中学生は 425 人の回答があり男子 53.4%、女子 42.4%と、中学生は男子の割合が高くなっている。

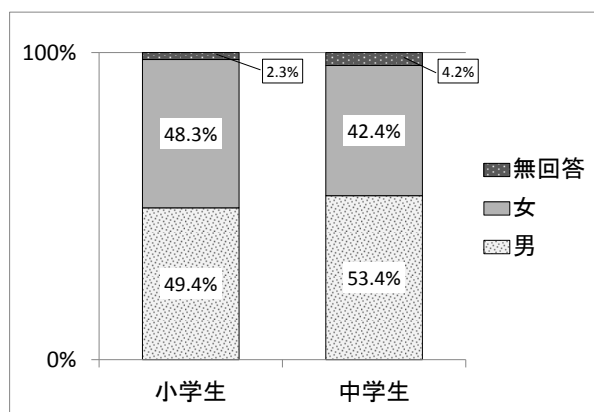
保護者へのアンケートに回答した方は、小・中学生あわせて母親が 81.6%、父親 11.8%と母親の回答が多い。

世帯構成では、小・中学生ともに世帯人数が4～5人が約 6 割を占めている。

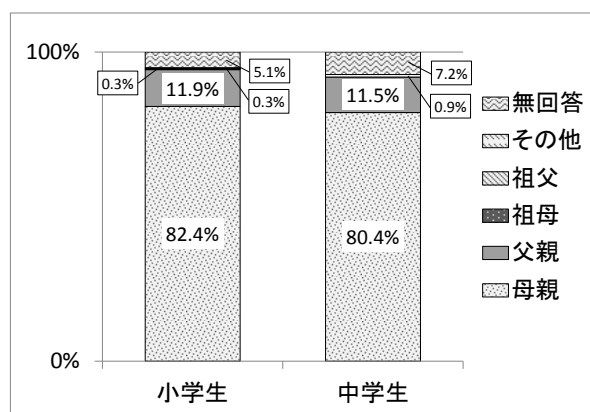
回答者の属性（嘉手納町）

		子ども				保護者						
		計	男	女	無回答	計	母親	父親	祖母	祖父	その他	無回答
小学生	回答者数	443	219	214	10	335	276	40	1	-	1	17
	%	100.0%	49.4%	48.3%	2.3%	100.0%	82.4%	11.9%	0.3%	-	0.3%	5.1%
中学生	回答者数	425	227	180	18	235	189	27	-	-	2	17
	%	100.0%	53.4%	42.4%	4.2%	100.0%	80.4%	11.5%	-	-	0.9%	7.2%
合計	回答者数	868	446	394	28	570	465	67	1	-	3	34
	%	100.0%	51.4%	45.4%	3.2%	100.0%	81.6%	11.8%	0.2%	-	0.5%	6.0%

小・中学生（嘉手納町）



保護者（嘉手納町）



小・中学生世帯構成（人数）

	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	無回答	合計
小学生	11	33	105	87	57	18	6	7	11	335
	3.3%	9.9%	31.3%	26.0%	17.0%	5.4%	1.8%	2.1%	3.3%	100.0%
中学生	12	21	62	80	36	8	4	3	9	235
	5.1%	8.9%	26.4%	34.0%	15.3%	3.4%	1.7%	1.3%	3.8%	100.0%

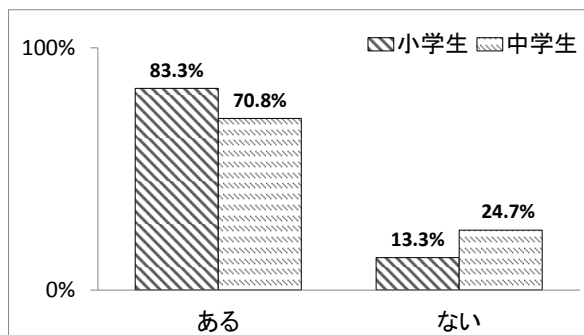
3. 調査概要

【小・中学生】

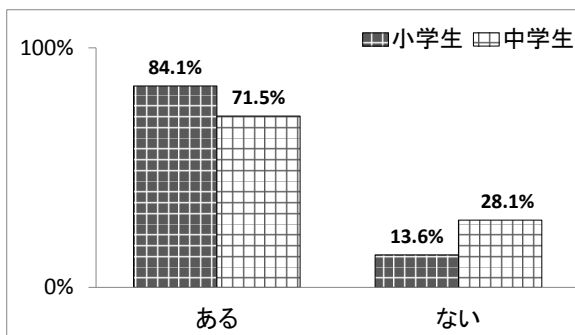
(1) 将来の夢

小・中学生に将来の夢について聞いたところ、「ある」と答えた割合は、小学生が 83.3%で中学生の 70.8%を上回っている。沖縄県と比較すると同じ傾向にあり、学年が上がるにしたがい、夢を持っている割合が減少する傾向にあるように見受けられる。特に、中学生では約4人に1人が、夢が「ない」と答えている。

夢があるか（嘉手納町）

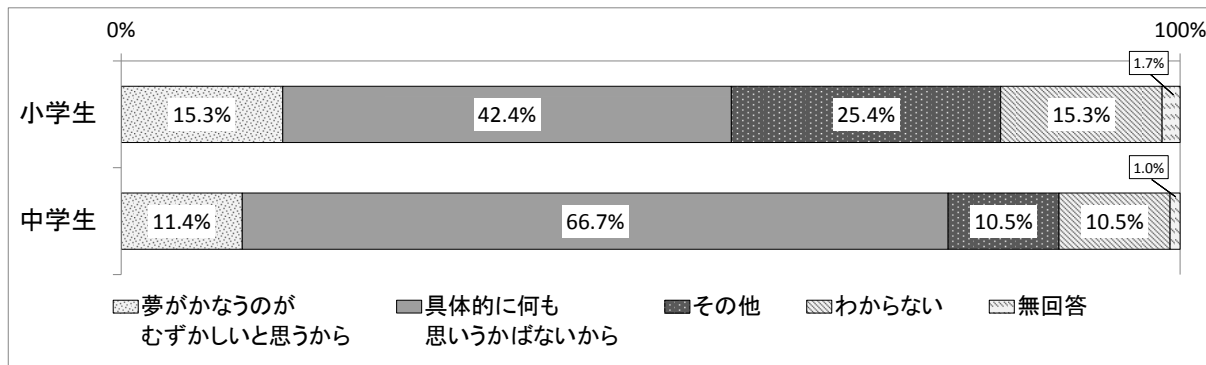


夢があるか（沖縄県）

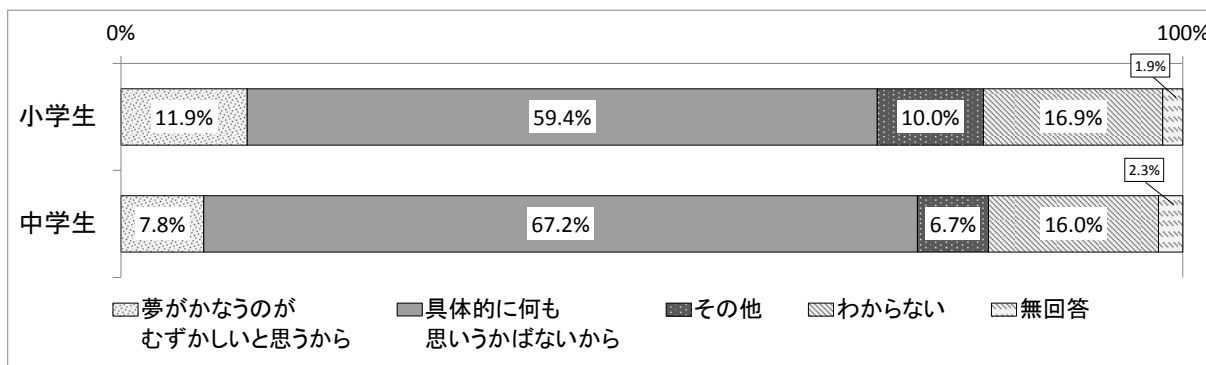


夢がないと答えた理由は、「具体的に何も思いうかばないから」が多く、中学生が 66.7%で小学生の 42.4%を上回っている。また、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」も小・中学生ともに 1 割を超えている。沖縄県と比較して、嘉手納町の小学生は、「具体的に何も思いうかばないから」が 42.4%と割合が低くなっている。なお、小学生の「その他」には、いろいろな選択肢があり迷っている、今考えてもしょうがないなどの意見があった。

夢がない理由（嘉手納町）



夢がない理由（沖縄県）



(2) 自分が使うことのできる物品の所有状況

小・中学生に自分が使うことのできる物品があるか聞いたところ、小学生で「ある」と答えた子どもが 6 割を超えるものは次の 5 項目で、「ゲーム機」「専用の勉強机」「おこづかい」「スポーツ用品」「子ども部屋」の順となっている。

中学生で「ある」と答えた子どもが 6 割を超えるものは次の 7 項目で、「子ども部屋」「専用の勉強机」「おこづかい」「スポーツ用品」「ゲーム機」「携帯電話」「自分だけの本」の順となっている。

小・中学生を比較すると、中学生が「携帯電話」や「携帯音楽プレーヤーなど」を持っている子どもの割合が高い。

自分が使うことのできる物品の所有状況(小学生:嘉手納町)

	ある		ない				無回答		合計
	回答者数	%	ほしい	%	ほしくない	%	回答者数	%	
ア. 自分だけの本	258	58.2%	69	15.6%	102	23.0%	14	3.2%	443
イ. 子ども部屋	281	63.4%	122	27.5%	34	7.7%	6	1.4%	443
ウ. インターネットパソコン	192	43.3%	154	34.8%	87	19.6%	10	2.3%	443
エ. 専用の勉強机	320	72.2%	73	16.5%	41	9.3%	9	2.0%	443
オ. スポーツ用品	283	63.9%	56	12.6%	101	22.8%	3	0.7%	443
カ. ゲーム機	333	75.2%	51	11.5%	58	13.1%	1	0.2%	443
キ. たいていの友だちが持っているおもちゃ	181	40.9%	80	18.1%	169	38.1%	13	2.9%	443
ク. 自転車	257	58.0%	133	30.0%	50	11.3%	3	0.7%	443
ケ. おこづかい	302	68.2%	98	22.1%	42	9.5%	1	0.2%	443
コ. 友だちと同じような服	189	42.7%	56	12.6%	193	43.6%	5	1.1%	443
サ. 携帯電話	188	42.4%	201	45.4%	48	10.8%	6	1.4%	443
シ. 携帯音楽プレーヤーなど	167	37.7%	185	41.8%	87	19.6%	4	0.9%	443

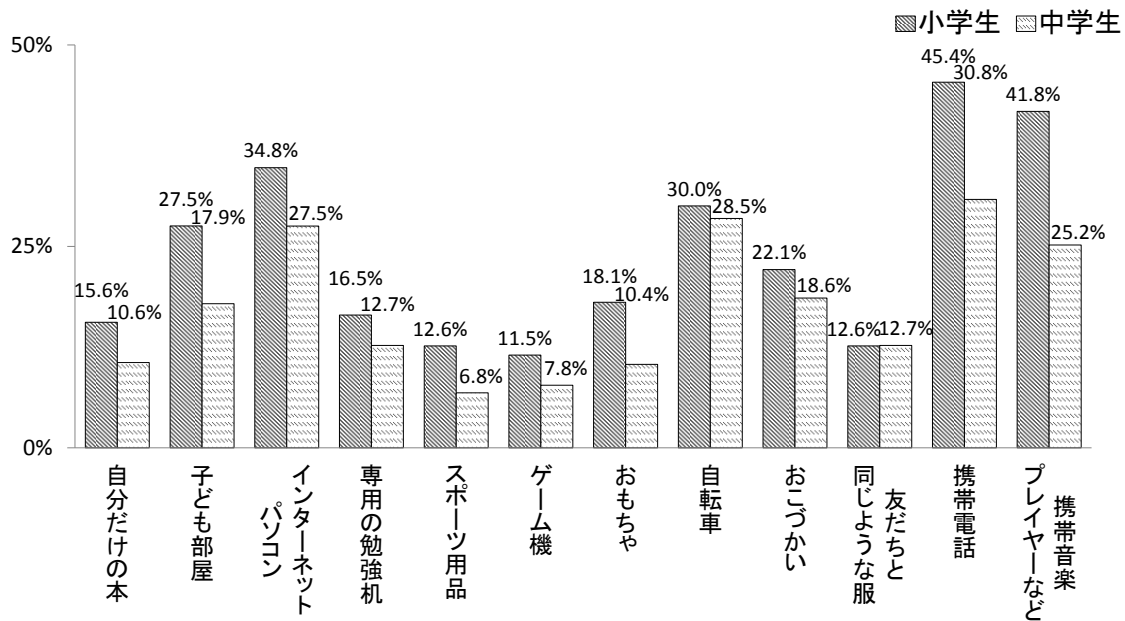
自分が使うことのできる物品の所有状況(中学生:嘉手納町)

	ある		ない				無回答		合計
	回答者数	%	ほしい	%	ほしくない	%	回答者数	%	
A. 自分だけの本	272	64.0%	45	10.6%	100	23.5%	8	1.9%	425
B. 子ども部屋	328	77.2%	76	17.9%	14	3.3%	7	1.6%	425
C. インターネットパソコン	217	51.1%	117	27.5%	86	20.2%	5	1.2%	425
D. 専用の勉強机	316	74.4%	54	12.7%	49	11.5%	6	1.4%	425
E. スポーツ用品	313	73.6%	29	6.8%	80	18.8%	3	0.7%	425
F. ゲーム機	292	68.7%	33	7.8%	97	22.8%	3	0.7%	425
G. たいていの友だちが持っているおもちゃ	169	39.8%	44	10.4%	207	48.7%	5	1.2%	425
H. 自転車	217	51.1%	121	28.5%	85	20.0%	2	0.5%	425
I. おこづかい	315	74.1%	79	18.6%	28	6.6%	3	0.7%	425
J. 友だちと同じような服	218	51.3%	54	12.7%	150	35.3%	3	0.7%	425
K. 携帯電話	283	66.6%	131	30.8%	9	2.1%	2	0.5%	425
L. 携帯音楽プレーヤーなど	242	56.9%	107	25.2%	73	17.2%	3	0.7%	425

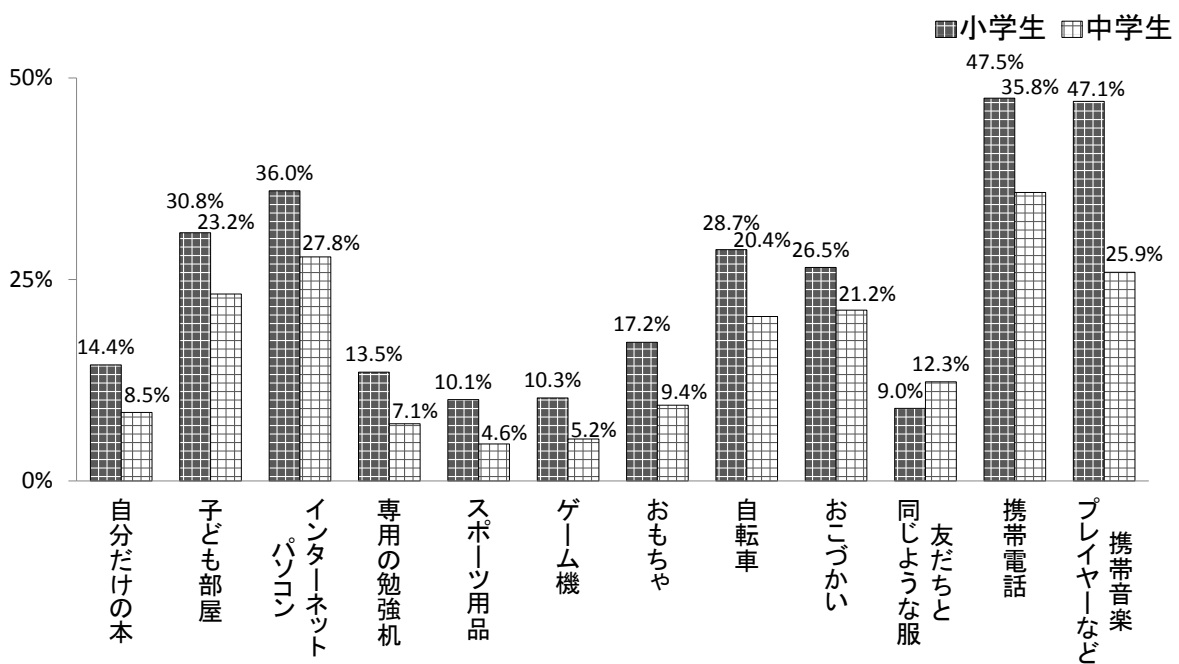
持っていない物品で「ほしい」と答えた割合を見ると、全ての物品において中学生より小学生が「ほしい」と答えた割合が高く、学年が上がるに従い我慢をしていることが推測される。

沖縄県と比較して、持っていないがほしいと答えた物品の割合は、県と嘉手納町は同じ傾向にある。

持っていないがほしいと答えた子どもの割合（嘉手納町）



持っていないがほしいと答えた子どもの割合（沖縄県）



(3) 友達との関係

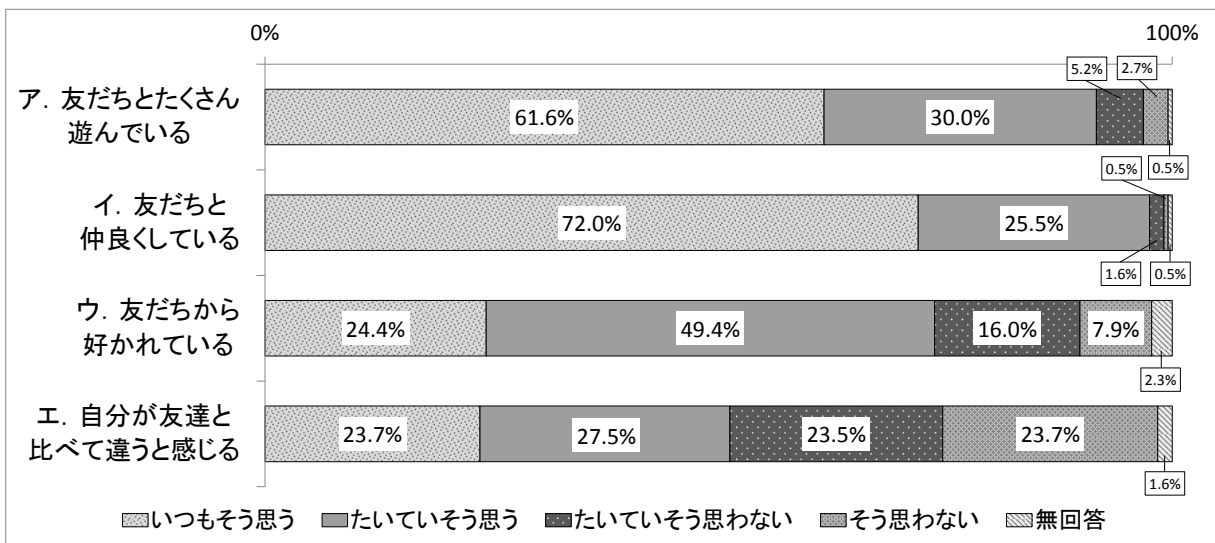
小・中学生に友達との関係について聞いたところ、小学生は「友だちとたくさん遊んでいる」や「友だちと仲良くしている」については、「いつもそう思う」と「たいていそう思う」の肯定的意見が9割を超えている。中学生では9割前後で小学生より若干低い。

「友だちから好かれている」については、「いつもそう思う」と「たいていそう思う」の肯定的意見が小・中学生ともに7割を超えている。

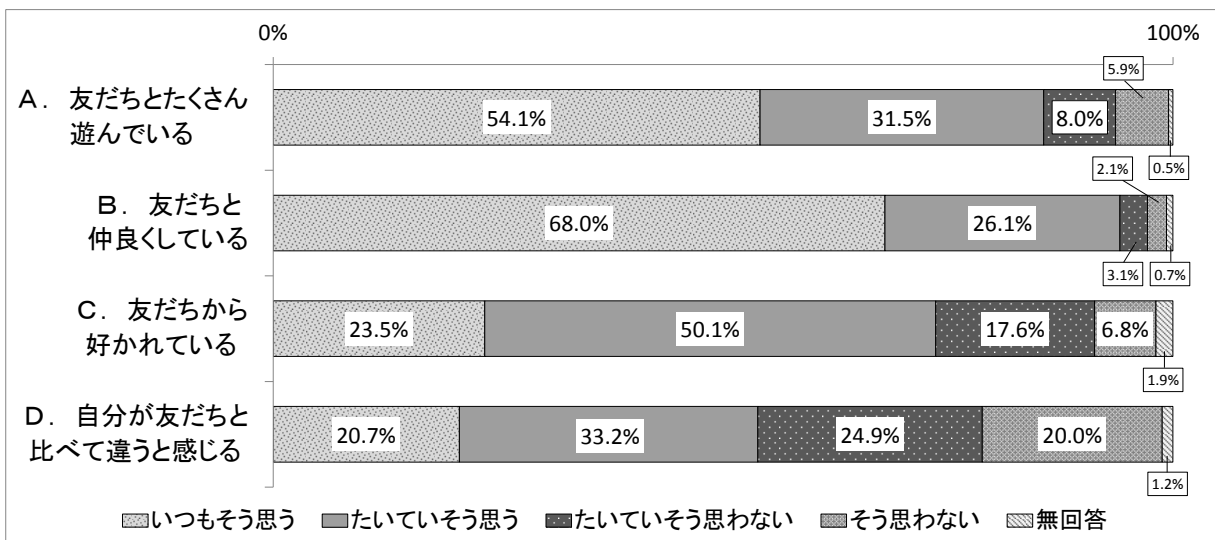
「自分が友だちと比べて違うと感じる」については、「たいていそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定的な意見が小学生47.2%、中学生44.9%となっている。

小・中学生ともに、友達との関係は良好と感じている子どもが多いが、自分は友達と比べ違うと感じている子どもは約半分存在している。

友だちとの関係（小学生：嘉手納）

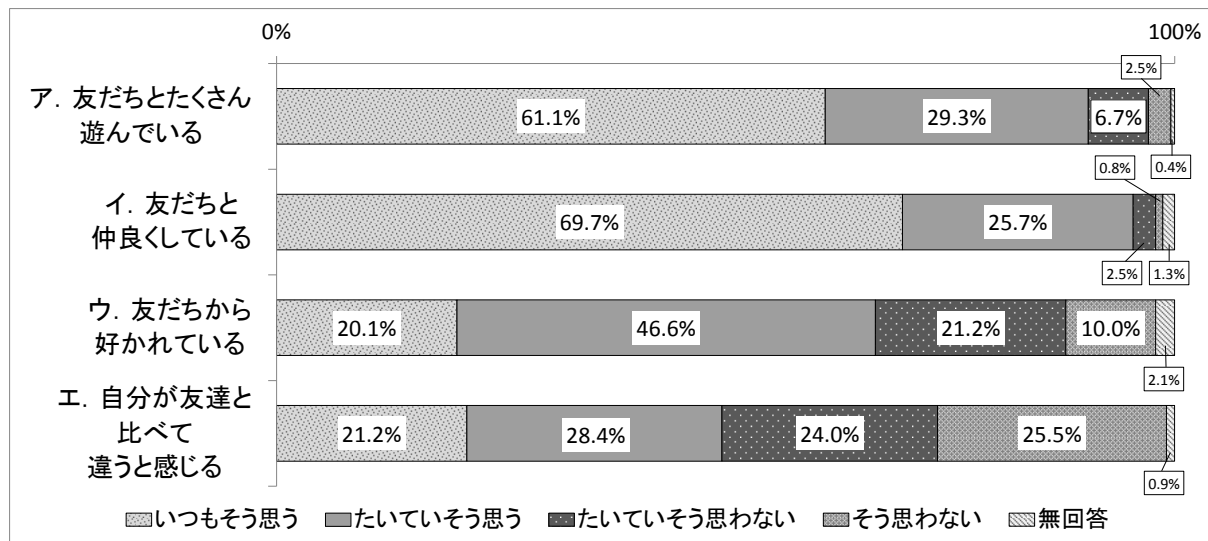


友だちとの関係（中学生：嘉手納町）

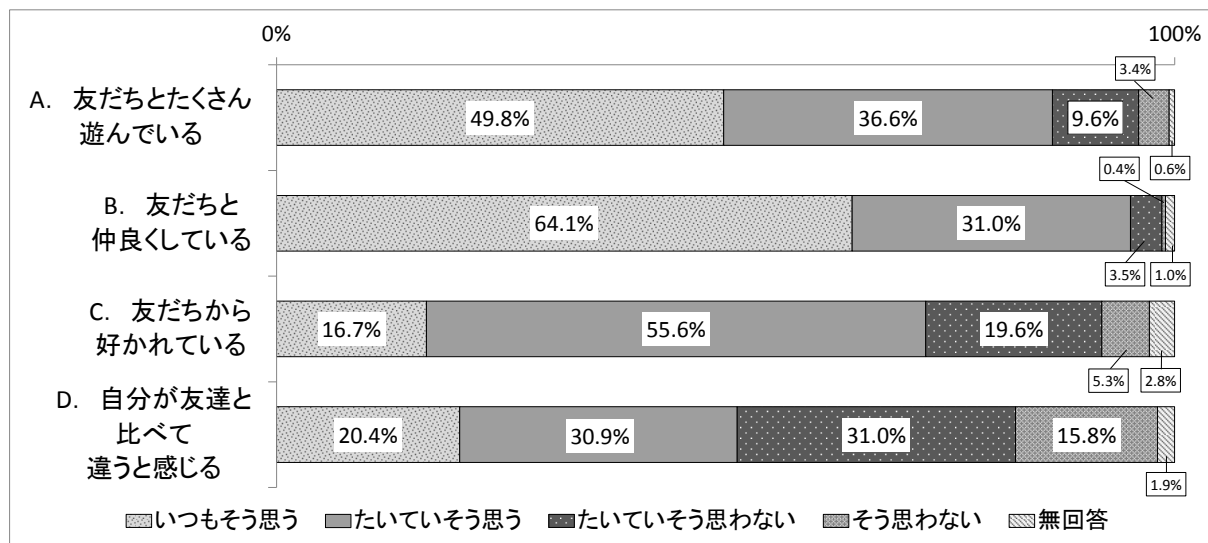


沖縄県と比較して、県と嘉手納町は同じ傾向にある。詳細を見ると、嘉手納町の小学生は、「友達から好かれている」の設問に「いつもそう思う」や「たいていそう思う」と肯定的な回答をした子どもは73.8%で、県の66.7%より高くなっている。

友だちとの関係（小学生：沖縄県）



友だちとの関係（中学生：沖縄県）



(4) 食事を一緒に食べる人（複数回答）

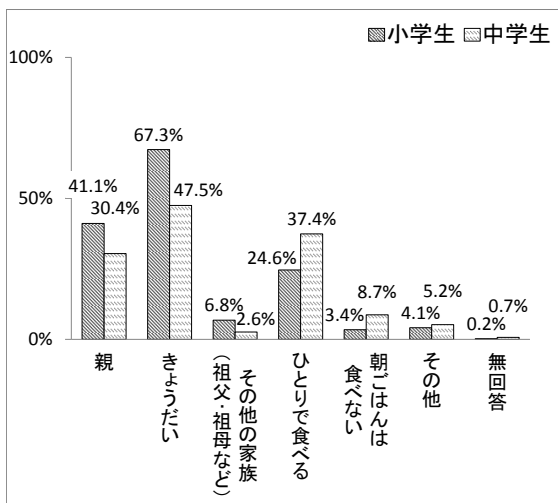
①平日の朝食や夕食を一緒に食べる人

小・中学生に平日及び休日の朝食や夕食を誰と一緒に食べるかについて聞いたところ、朝食より夕食を家族で食事をする子どもの割合が高い。また、中学生は朝食をひとりで食べる子どもの割合が高い。

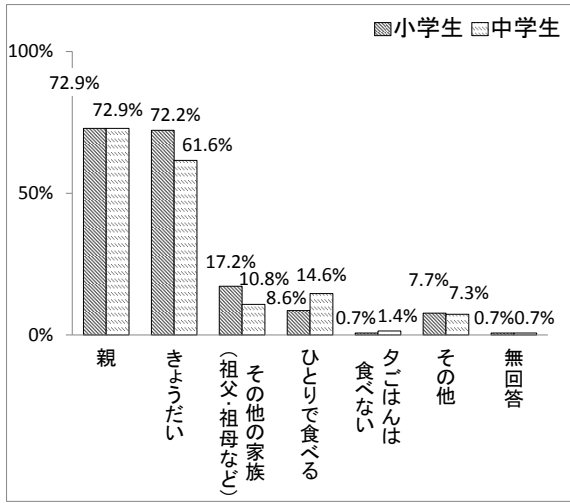
個別に見ると、朝食については小・中学生は「きょうだい」「親」「ひとりで食べる」子どもの割合が高いが、夕食は朝食に比べ「親」や「きょうだい」の割合が増え「ひとりで食べる」が減少している。

小学生と比べ中学生は朝食を「ひとりで食べる」が平日 37.4%、休日 43.8%と高い。

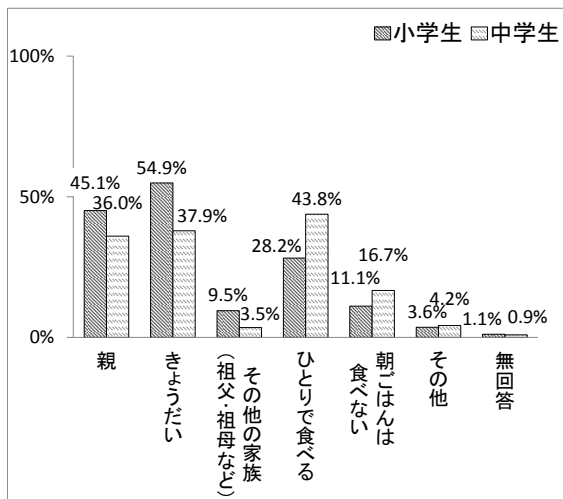
平日の朝食（嘉手納町）



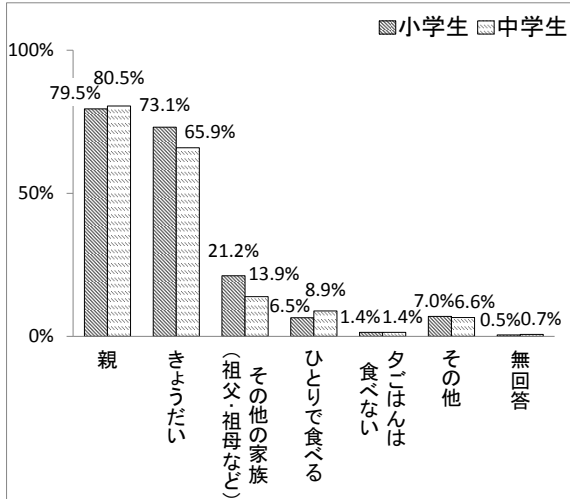
平日の夕食（嘉手納町）



休日の朝食（嘉手納町）

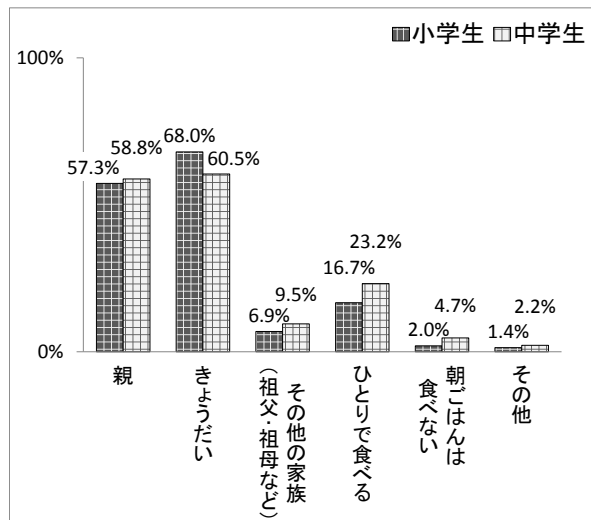


休日の夕食（嘉手納町）

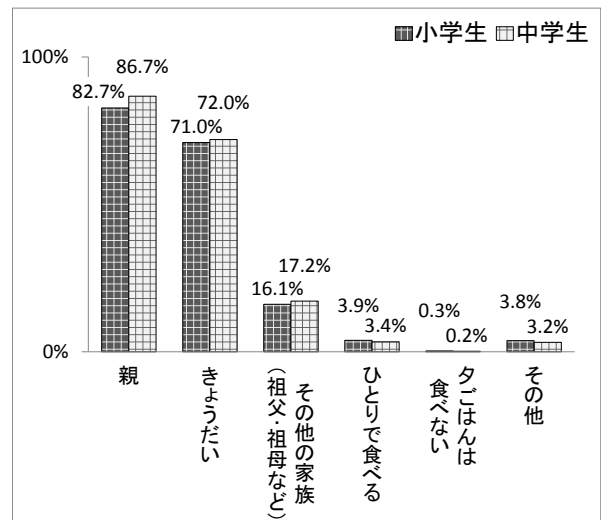


沖縄県と比較して、平日や休日の朝食及び夕食について県と嘉手納町は異なる傾向が見られる。平日や休日の朝食については、中学生が家族と食事をする割合が低く、ひとりで食事をする割合が高くなっている。平日や休日の夕食については一緒に食事をする人は同じ傾向にあるが、嘉手納町は親と食事をする割合が県より低い傾向にある。

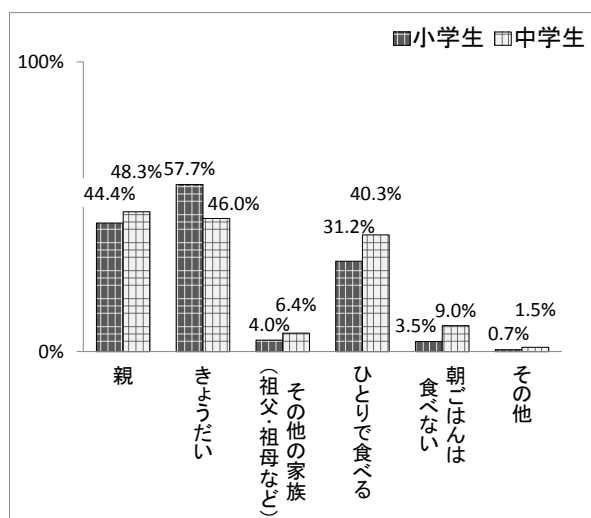
平日の朝食（沖縄県）



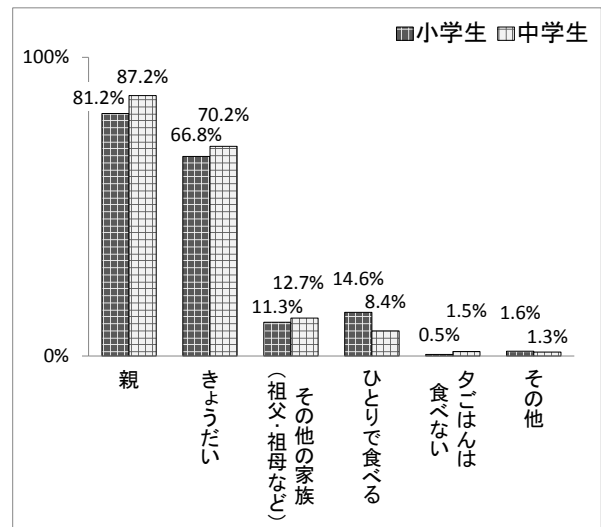
平日の夕食（沖縄県）



休日の朝食（沖縄県）



休日の夕食（沖縄県）



(5) 学校生活について

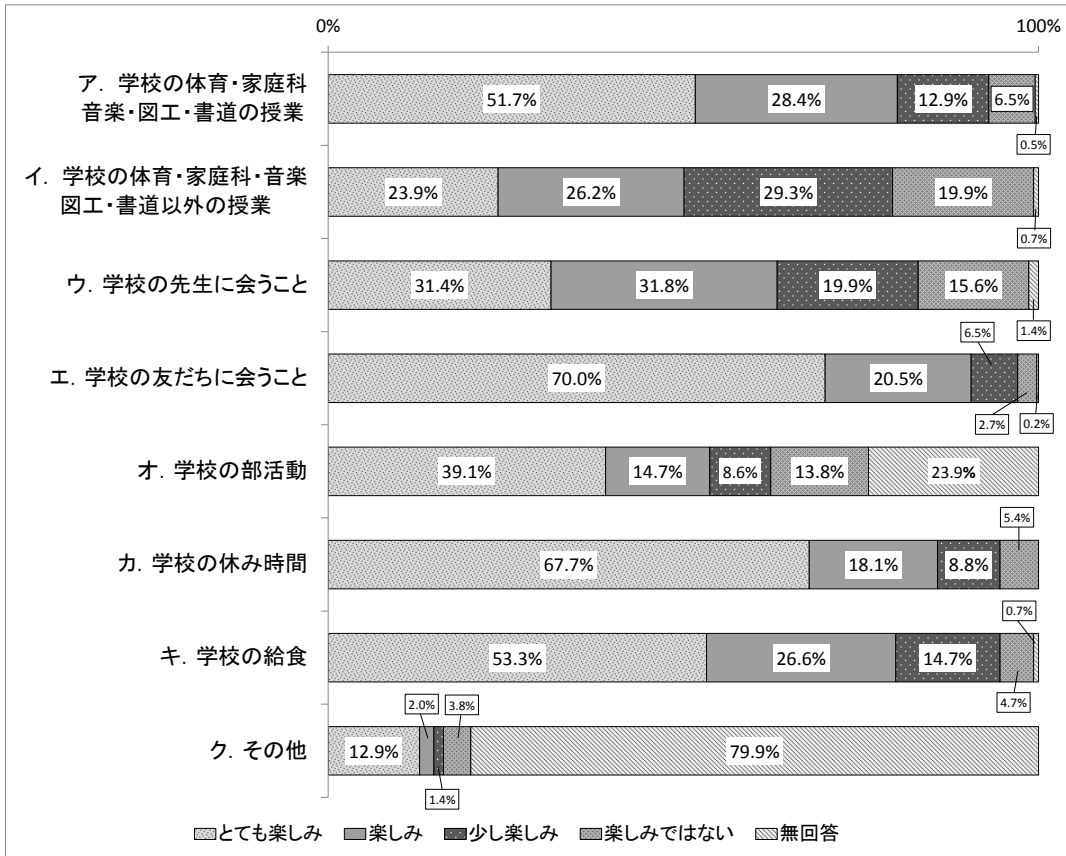
小・中学生に学校生活について聞いたところ、小学生に対し中学生が学校に楽しみを感じる子どもの割合が少なく、楽しみではないと感じている子どもの割合が高い。

小学生は、「とても楽しみ」と答えた割合が 5 割を超えるものは4項目で、「学校の友だちに会うこと」70.0%、「学校の休み時間」67.7%、「学校の給食」53.3%、「学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道の授業」51.7%となっている。一方、「楽しみではない」と答えたものには、「学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道以外の授業」19.9%、「学校の先生に会うこと」15.6%、「学校の部活」13.8%が1割を超えている。

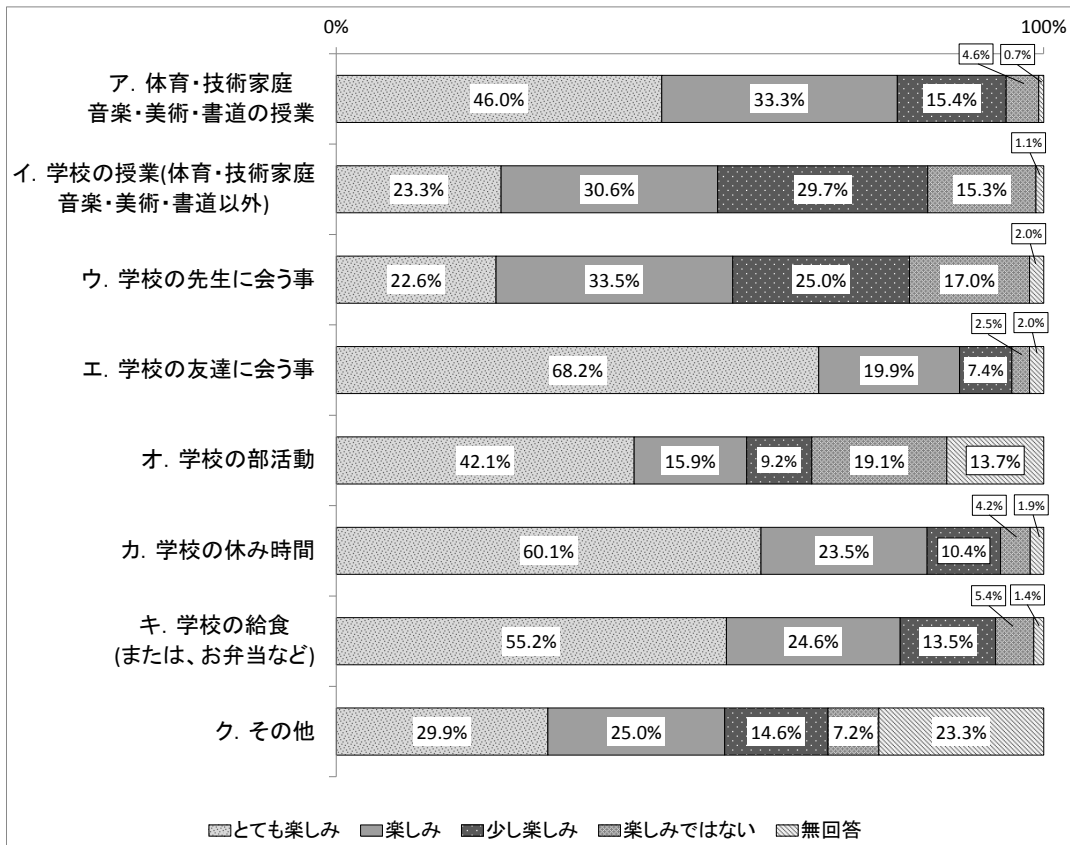
中学生は、「とても楽しみ」と答えた割合が 5 割を超えるものは 3 項目で、「学校の休み時間」62.6%、「学校の友だちに会うこと」61.6%、「学校の給食」51.3%となっている。一方、「楽しみではない」と答えたものには、「学校の先生に会うこと」30.4%、「学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道以外の授業」26.4%、「学校の部活」19.5%となっている。

沖縄県と比較して、嘉手納町の小学生が「とても楽しみ」と答えた、「学校の友だちに会うこと」「学校の休み時間」「学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道の授業」は、県の割合を上回っており、学校を楽しんでいる子どもの割合が多いことが伺える。

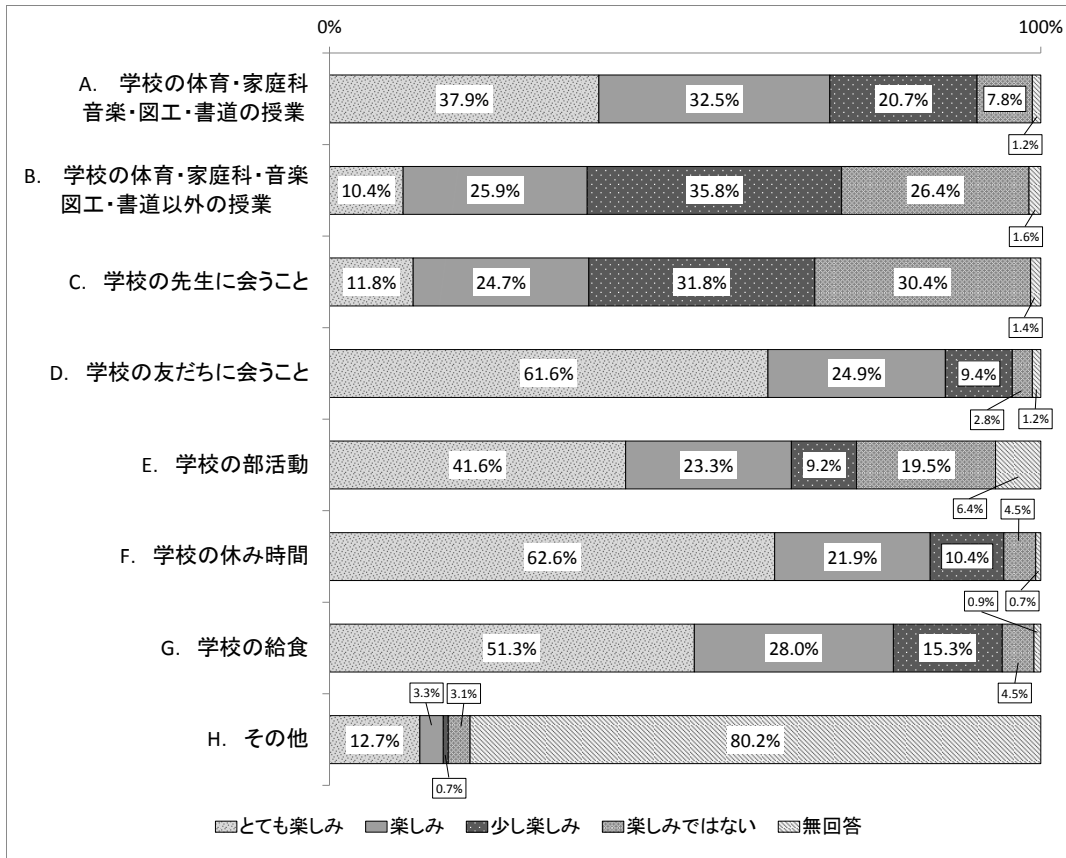
学校生活について（小学生：嘉手納町）



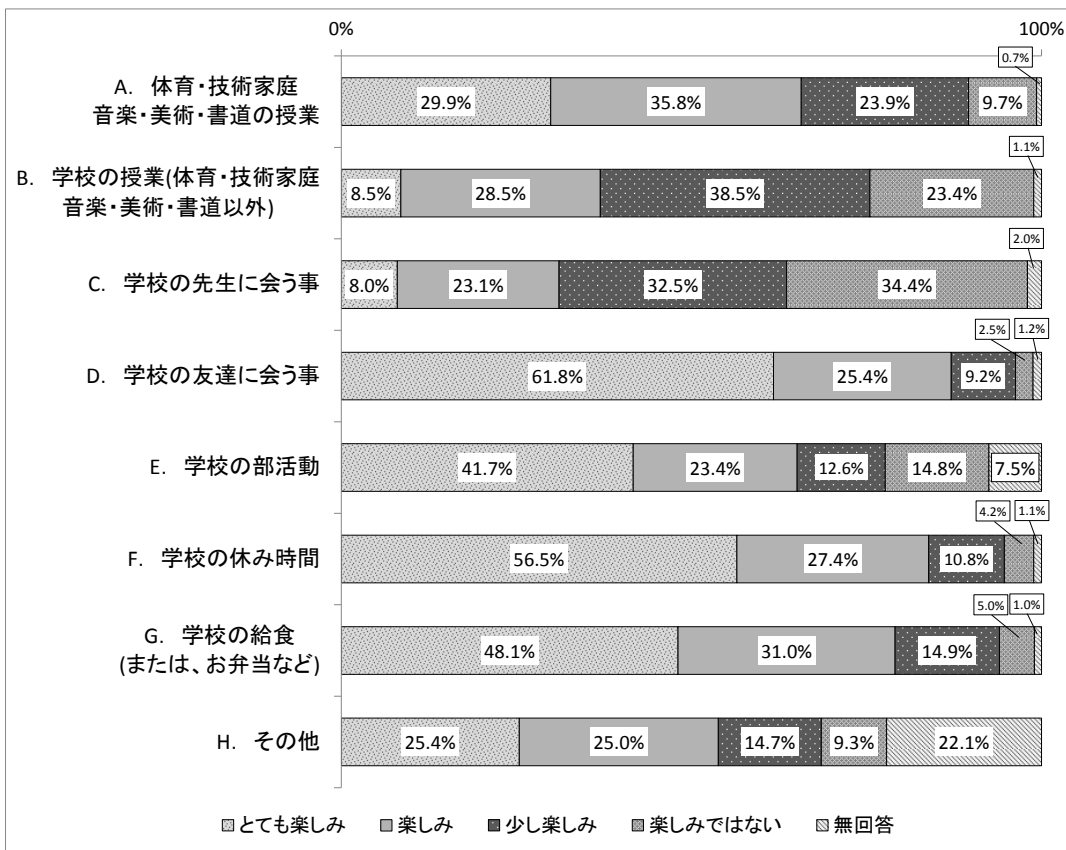
学校生活について（小学生：沖縄県）



学校生活について（中学生：嘉手納町）



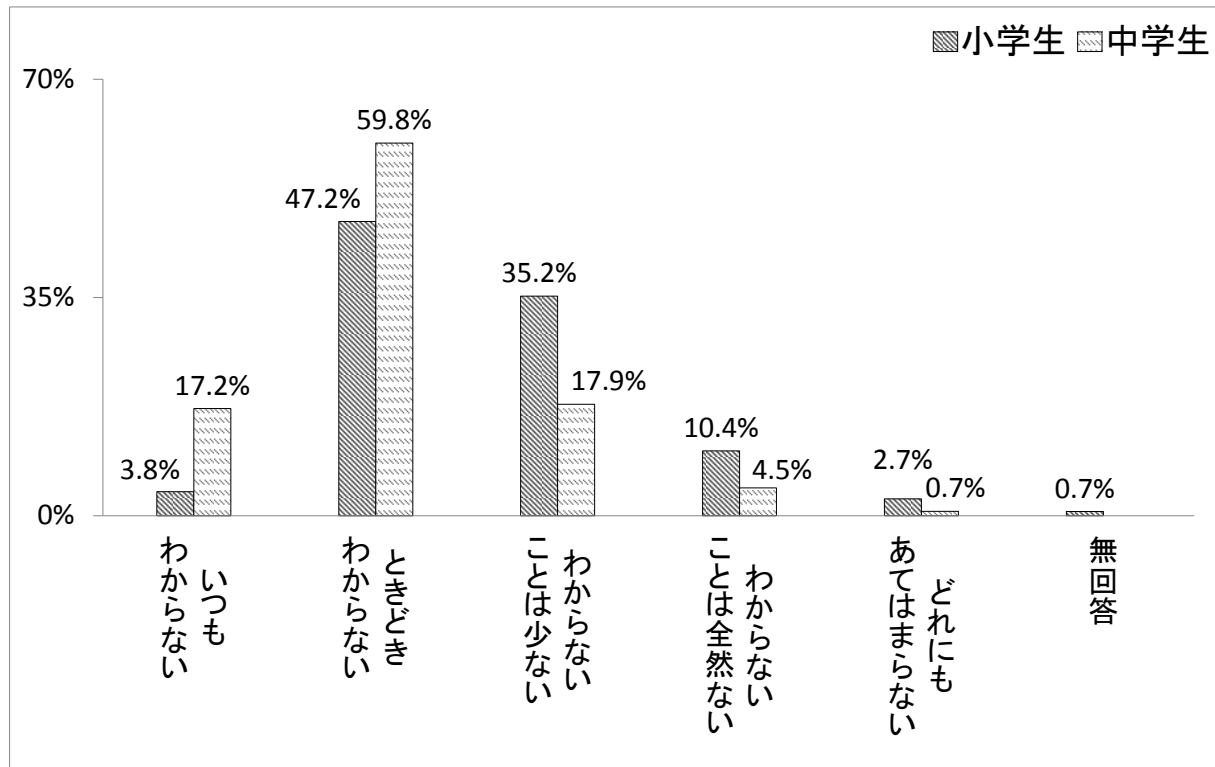
学校生活について（中学生：沖縄県）



(6) 学校の授業でわからないこと

小・中学生に学校の授業の理解度について聞いたところ、「いつもわからない」や「ときどきわからない」を合わせた、わからないと答えた子どもが小学生 51.0%、中学生 77.0%と中学生にわからないと答えたが子どもの割合が高い。なお、中学生には「いつもわからない」と答えた子どもが 17.2%存在している。

学校の授業で分からないことはあるか（嘉手納町）



(7) 自分への思い

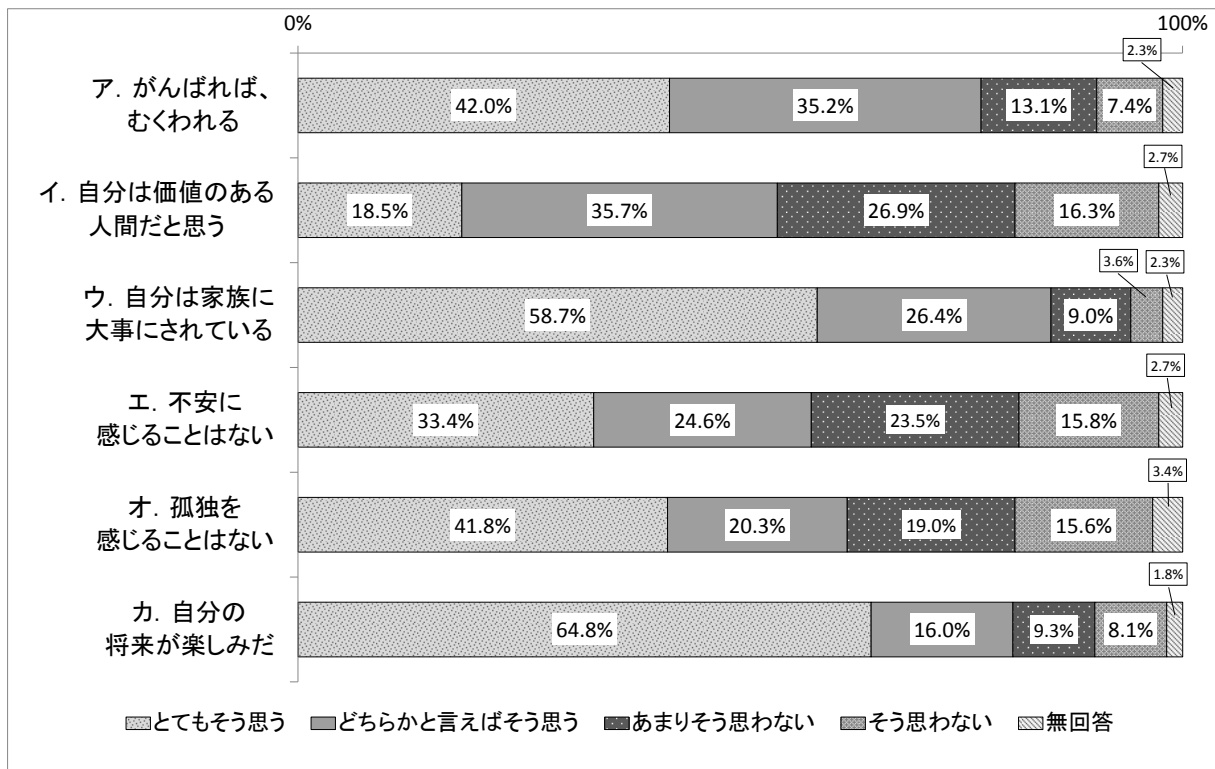
小・中学生に自分のことをどう思っているか（自己肯定感）を聞いてみると、「とてもそう思う」や「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な意見が7割を超える項目は、小・中学生ともに 3 項目あり、「自分は家族に大切にされている」（小学生 85.1%、中学生 85.4%）、「自分の将来が楽しみだ」（小学生 80.8%、中学生 73.4%）、「がんばればむくわれる」（小学生 77.2%、中学生 72.4%）となっている。

一方、「そう思わない」と答えた子どもは「自分は価値のある人間だとおもう」（小学生 16.3%、中学生 14.1%）、「不安に感じることはない」（小学生 15.8%、中学生 21.4%）、「孤独を感じることはない」（小学生 15.6%、中学生 14.8%）と 1 割を超えている。

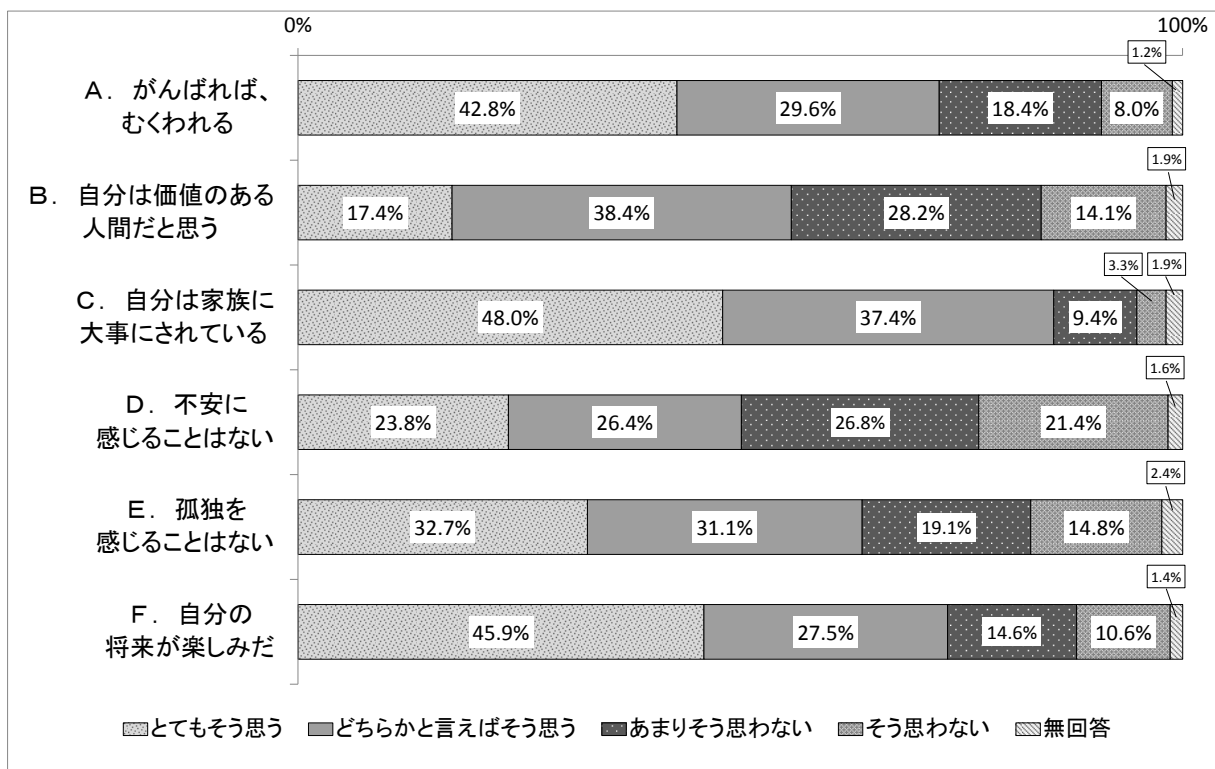
小・中学生を比較すると、「不安に感じることはない」では中学生の「そう思わない」との答えが 2 割を超えるなど、不安を抱える子どもの割合が高い。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。

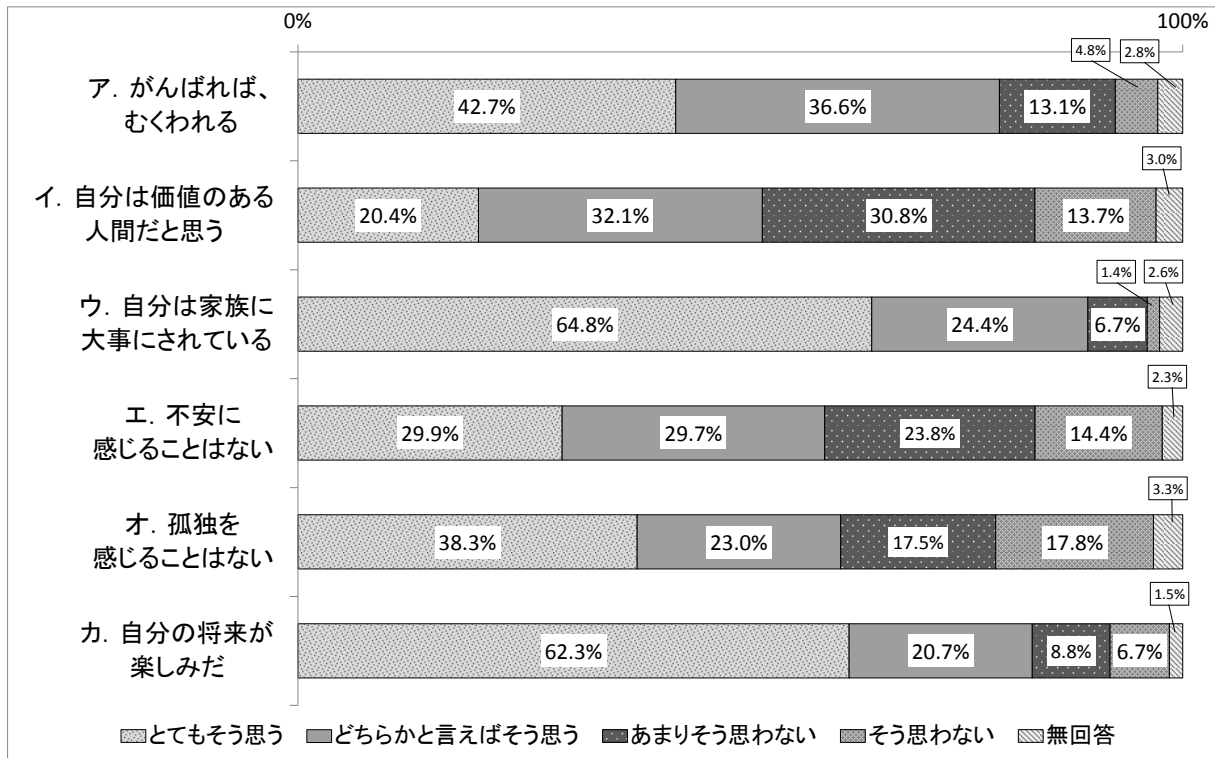
自分への思い（小学生：嘉手納町）



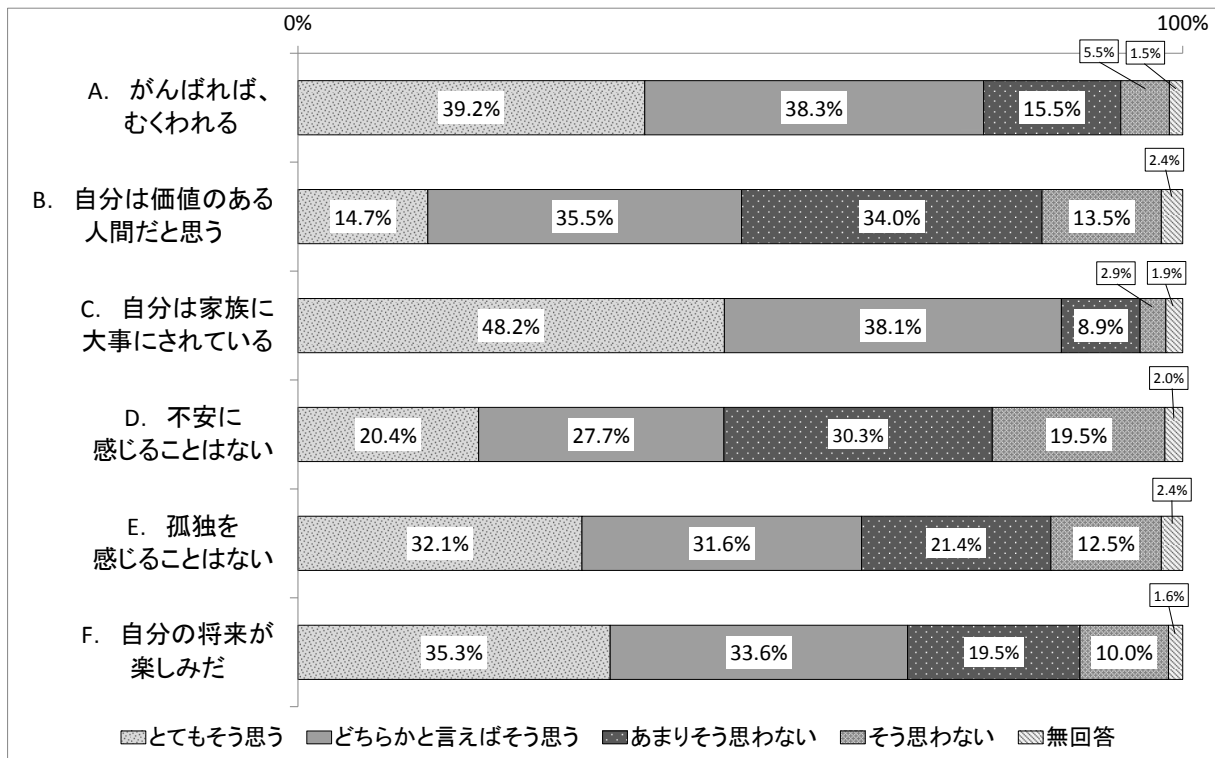
自分への思い（中学生：嘉手納町）



自分への思い（小学生：沖縄県）



自分への思い（中学生：沖縄県）



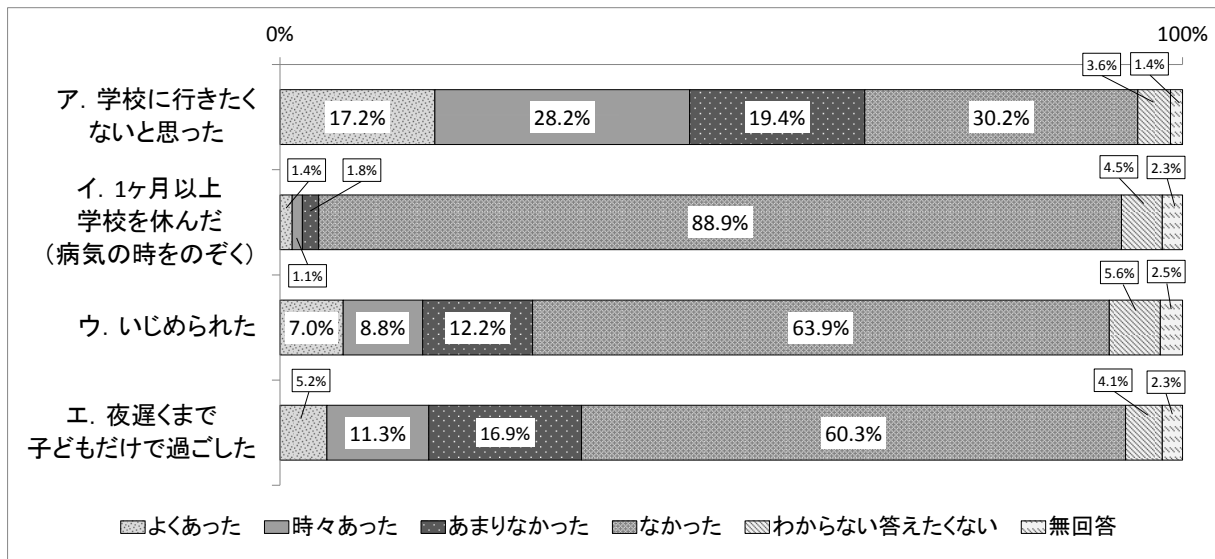
(8) 不安、心配事

小・中学生に聞いた不安や心配事では、「学校に行きたくないと思った」と答えた割合が高く、「よくあった」や「ときどきあった」を合わせると小・中学生ともに 45.4%と約半数となっている。

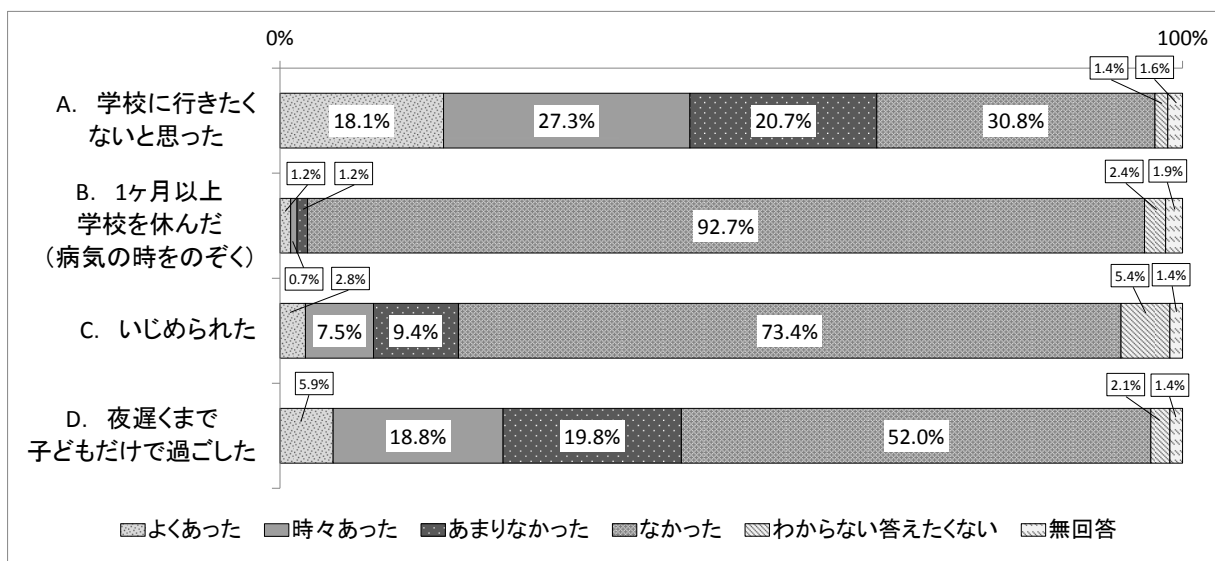
その他の、「1ヶ月以上学校を休んだ」「いじめられた」「夜遅くまで子どもだけで過ごした」は「なかった」「あまりなかった」と答えた割合が高い。

一方、「いじめられた」については、「よくあった」や「ときどきあった」が小学生 15.8%、中学生 10.3%と、1 割以上がいじめを経験している。また、「夜遅くまで子どもだけで過ごした」については、「よくあった」や「ときどきあった」を合わせると小学生 16.5%、中学生 24.7%と夜遅くまで子どもだけで過ごすのが 2 割程度見られる。

不安、心配事（小学生：嘉手納町）



不安、心配事（中学生：嘉手納町）



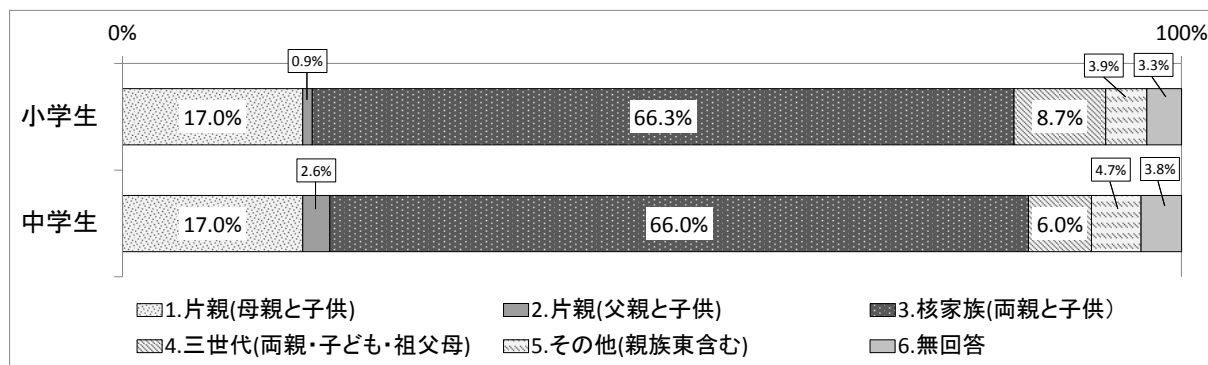
【保護者】

(1) 家族構成

小・中学生の保護者へ家族構成について伺ったところ、小・中学生ともに同じ傾向にあり、「核家族（両親と子供）」（小学生 66.3%、中学生 66.0%）、「片親（母親と子供）」（小学生 17.0%、中学生 17.0%）となっており、母親との片親の世帯が2割弱存在している。

また、僅かではあるが父親との片親の世帯もあり、小学生より中学生の割合が高い。

家族構成（嘉手納町）

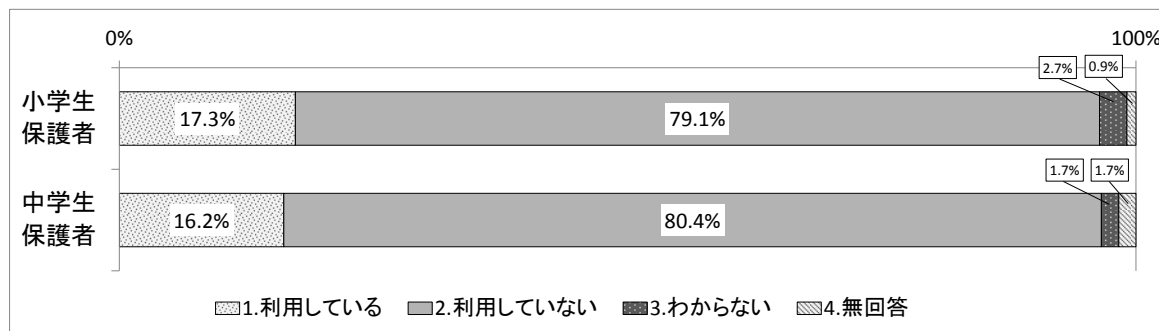


(2) 就学援助制度の利用状況

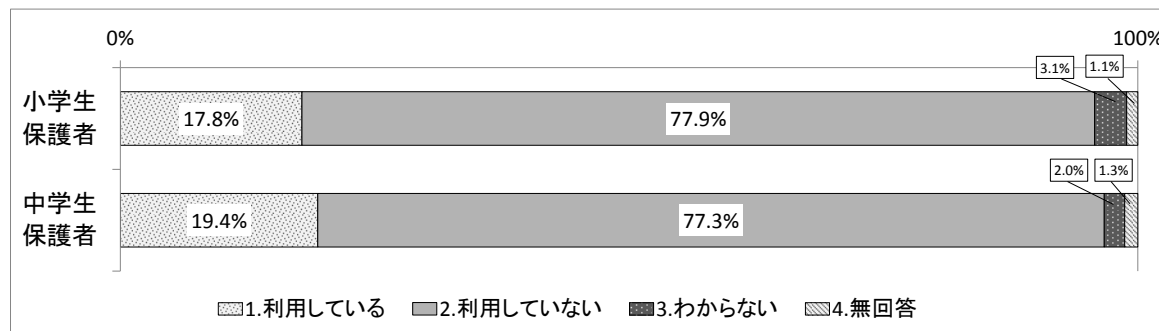
小・中学生の保護者に就学援助の利用について伺ったところ、「利用している」と答えた方は小学生保護者 17.3%、中学生保護者 16.2%で、「利用していない」は約8割となっている。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。

就学援助制度の利用状況（嘉手納町）



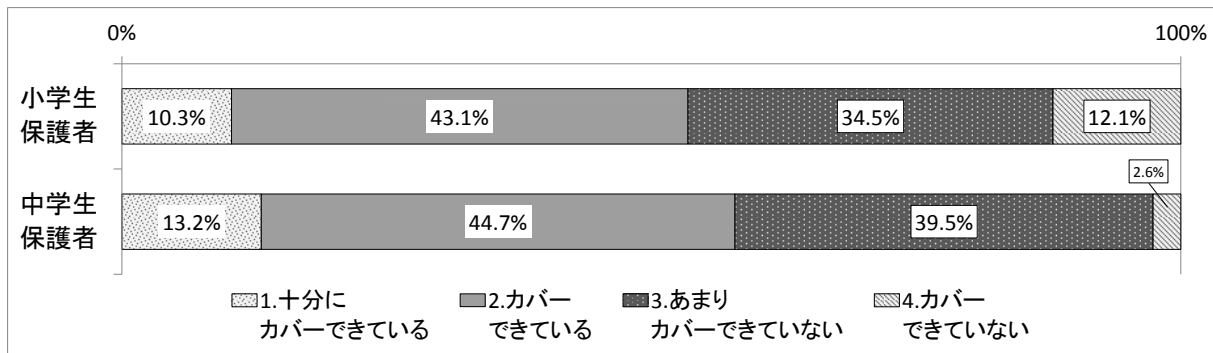
就学援助制度の利用状況（沖縄県）



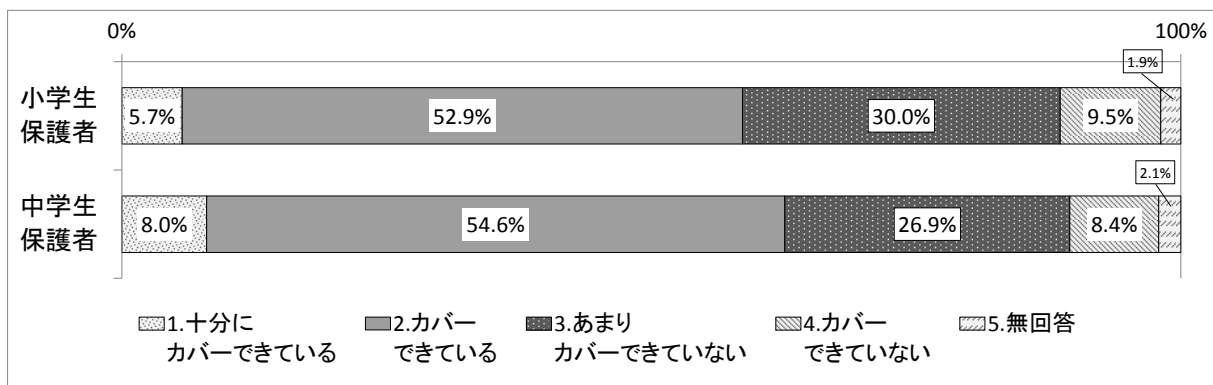
就学援助制度を利用していると答えた方に満足度を伺ったところ、「十分にカバーできている」や「カバーできている」答えた方は、小学生保護者 53.4%、中学生保護者 57.9%とカバーできていると答えた方が5割を超えている。

沖縄県と比較して、嘉手納町の保護者で「十分にカバーできている」や「カバーできている」と答えた方は、小・中学生の保護者とも割合が県より少し低くなっている。

利用していると答えた方、十分か（嘉手納町）



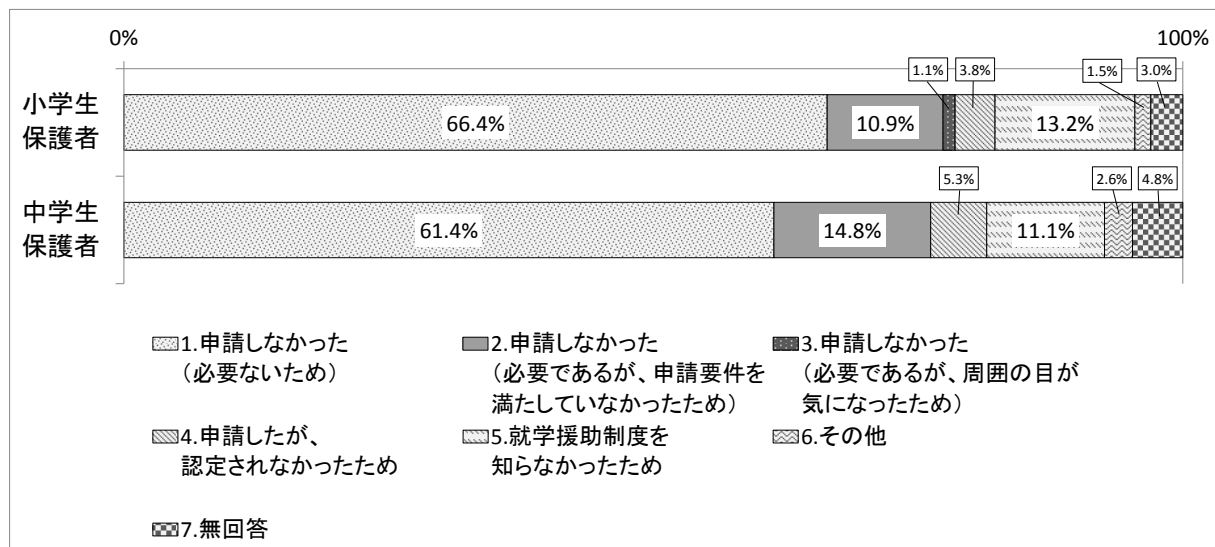
利用していると答えた方、十分か（沖縄県）



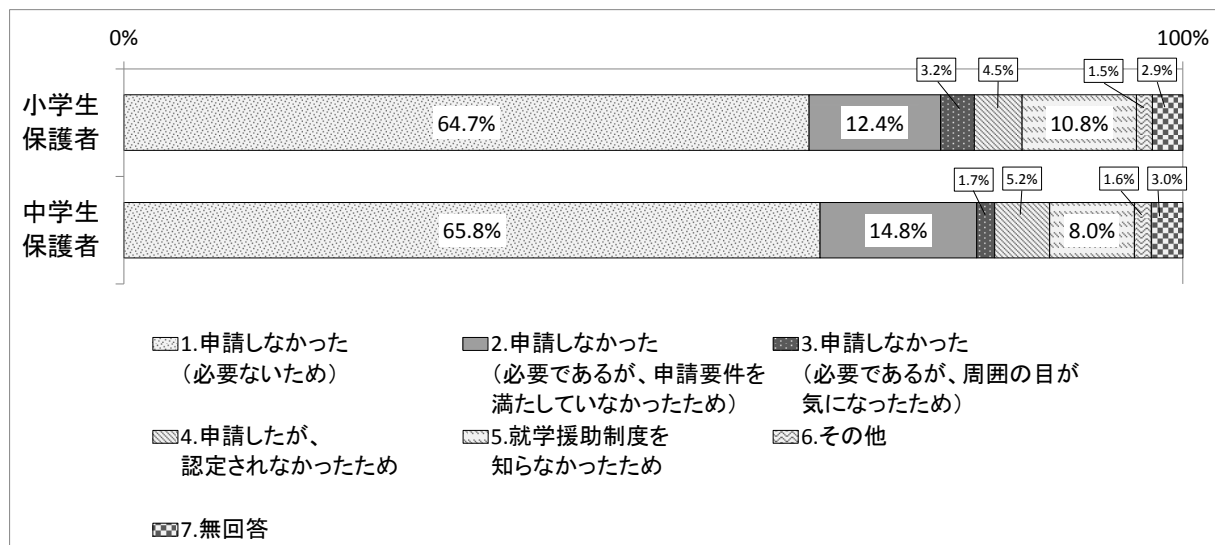
就学援助制度を利用していないと答えた 8 割の方に理由を伺ったところ、「必要がないため申請しなかった」と答えた割合が高く小学生保護者 66.4%、中学生保護者 61.4%であり、「必要であるが申請要件を満たしていなかった」は小学生保護者 10.9%、中学生保護者 14.8%見られる。さらに、「就学援助制度を知らなかった」は小学生保護者 13.2%、中学生保護者 11.1%存在する。

沖縄県と比較して、県と嘉手納町は同じ傾向にあるが、「就学援助制度を知らなかった」と答えた割合は、小・中学生の保護者ともに嘉手納町が2～3%高く、制度周知方法の工夫を行っているところであるが、継続して制度の周知を行う必要があると思われる。

利用していない理由（嘉手納町）



利用していない理由（沖縄県）



(3) 子どもにしてあげていること

小・中学生の保護者に子どもにしてあげていることを伺ったところ、8割以上が「している」と答えた項目で小・中学生の保護者に共通しているものは、「誕生日のお祝いをする」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」「医者に行く」「歯医者に行く」「学校行事などへ親が参加する」があがっている。また、小学生保護者のみ「毎年新しい洋服・靴を買う」が8割を超えている。

「していない」ことで必要がないと思っているものに、「毎月おこづかいを渡す」(小学生保護者 55.8%、中学生保護者 37.9%)や「学習塾に通わせる」(小学生保護者 41.2%、中学生保護者 23.8%)の割合が高くなっている。

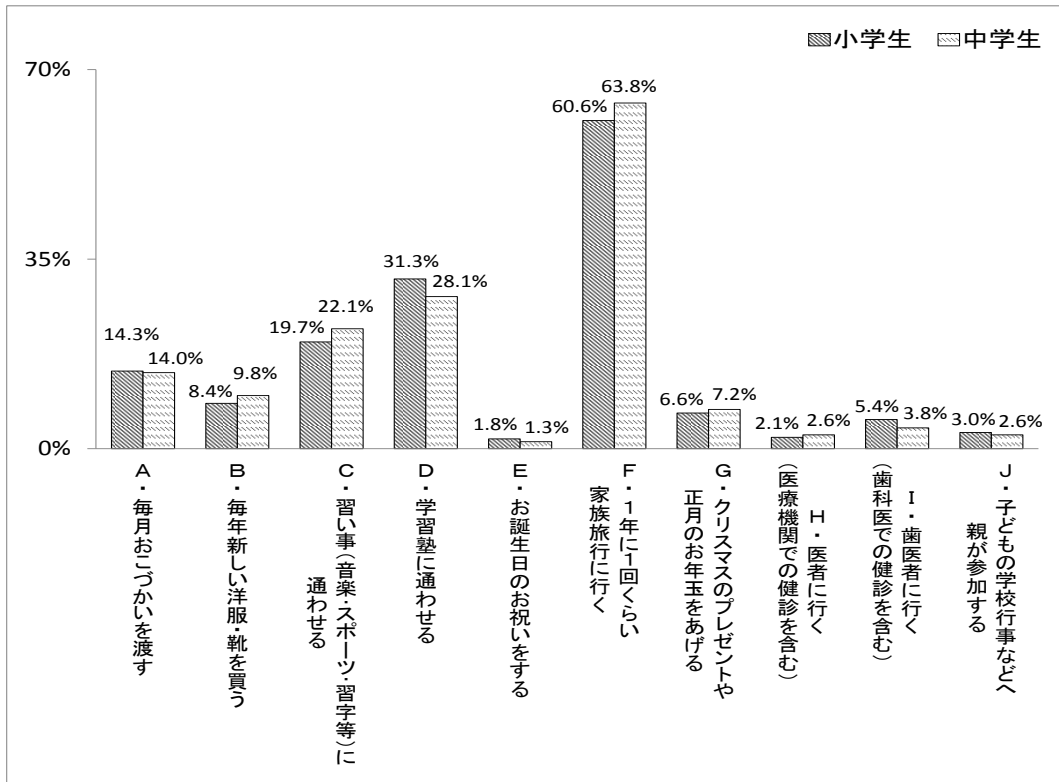
子どもにしてあげていること(小学生保護者:嘉手納町)

	している		していない				無回答		合計	
			必要だと思わない		経済的にできない					
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
A.毎月おこづかいを渡す	98	29.3%	187	55.8%	48	14.3%	2	0.6%	335	100%
B.毎年新しい洋服・靴を買う	284	84.8%	22	6.6%	28	8.4%	1	0.3%	335	100%
C.習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	224	66.9%	36	10.7%	66	19.7%	9	2.7%	335	100%
D.学習塾に通わせる	79	23.6%	138	41.2%	105	31.3%	13	3.9%	335	100%
E.お誕生日のお祝いをする	326	97.3%	2	0.6%	6	1.8%	1	0.3%	335	100%
F.1年に1回くらい家族旅行に行く	96	28.7%	32	9.6%	203	60.6%	4	1.2%	335	100%
G.クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	306	91.3%	4	1.2%	22	6.6%	3	0.9%	335	100%
H.医者に行く(医療機関での健診を含む)	324	96.7%	-	-	7	2.1%	4	1.2%	335	100%
I.歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	304	90.7%	6	1.8%	18	5.4%	7	2.1%	335	100%
J.子どもの学校行事などへ親が参加する	318	94.9%	1	0.3%	10	3.0%	6	1.8%	335	100%

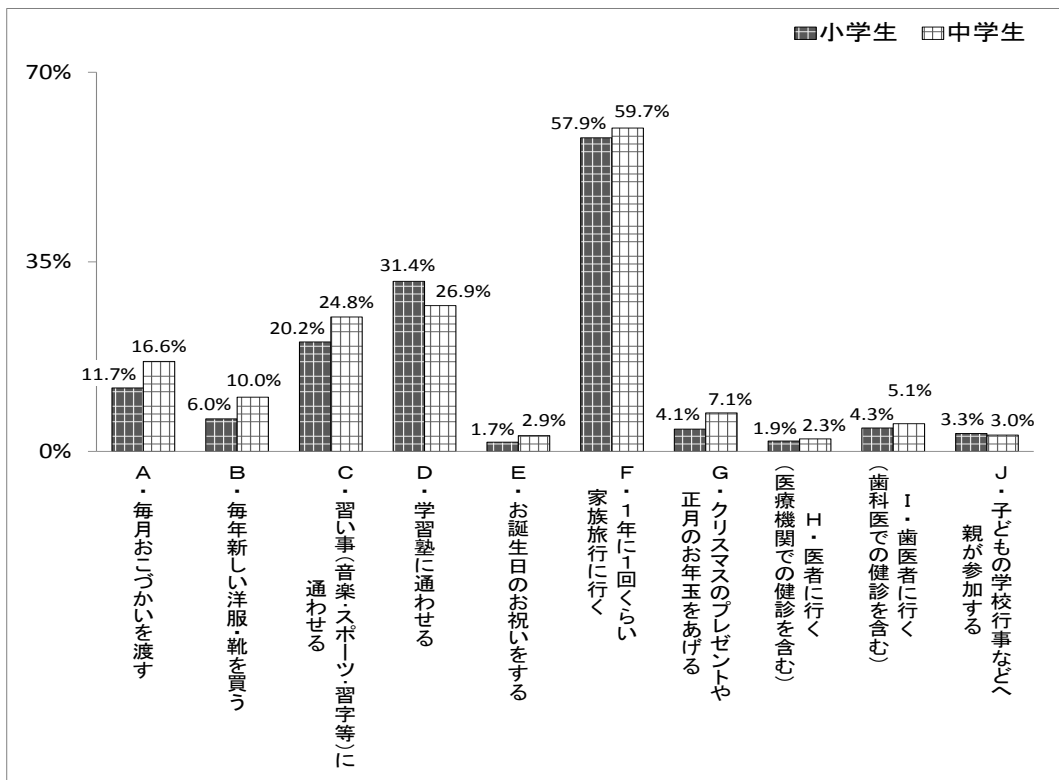
子どもにしてあげていること(中学生保護者:嘉手納町)

	している		していない				無回答		合計	
			必要だと思わない		経済的にできない					
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
A.毎月おこづかいを渡す	105	44.7%	89	37.9%	33	14.0%	8	3.4%	235	100.0%
B.毎年新しい洋服・靴を買う	183	77.9%	23	9.8%	23	9.8%	6	2.6%	235	100.0%
C.習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	117	49.8%	52	22.1%	52	22.1%	14	6.0%	235	100.0%
D.学習塾に通わせる	106	45.1%	56	23.8%	66	28.1%	7	3.0%	235	100.0%
E.お誕生日のお祝いをする	226	96.2%	3	1.3%	3	1.3%	3	1.3%	235	100.0%
F.1年に1回くらい家族旅行に行く	48	20.4%	28	11.9%	150	63.8%	9	3.8%	235	100.0%
G.クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	206	87.7%	8	3.4%	17	7.2%	4	1.7%	235	100.0%
H.医者に行く(医療機関での健診を含む)	222	94.5%	3	1.3%	6	2.6%	4	1.7%	235	100.0%
I.歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	213	90.6%	8	3.4%	9	3.8%	5	2.1%	235	100.0%
J.子どもの学校行事などへ親が参加する	222	94.5%	1	0.4%	6	2.6%	6	2.6%	235	100.0%

「していない」ことで経済的にできないことについて伺ったところ、「1年に1回くらい家族旅行に行く」（小学生保護者 60.6%、中学生保護者 63.8%）、「学習塾に通わせる」（小学生保護者 31.3%、中学生保護者 28.1%）、「習い事に通わせる」（小学生保護者 19.7%、中学生保護者 22.1%）の割合が高い。沖縄県と比較して、県と嘉手納町は同じ傾向にある。していない、経済的にできない（嘉手納町）



していない、経済的にできない（沖縄県）



(4) 子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか

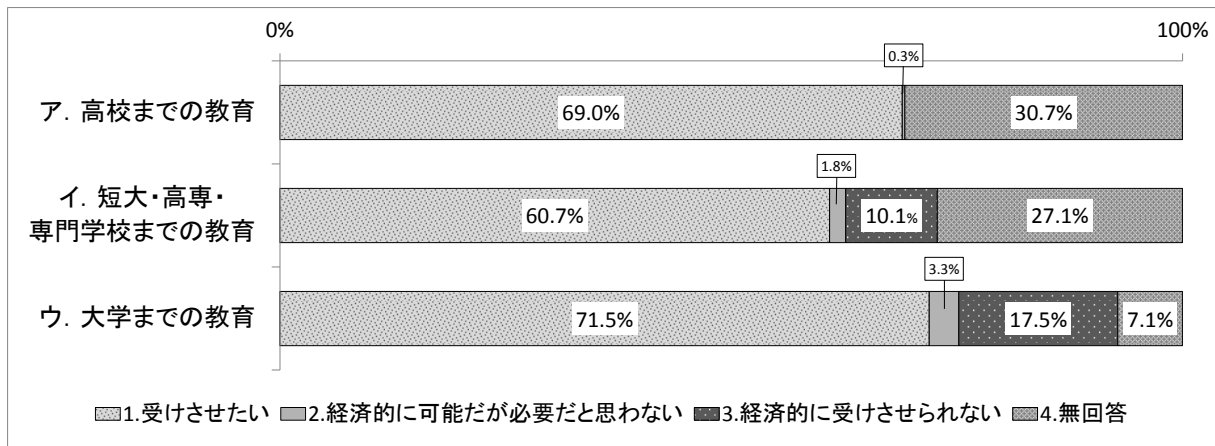
小・中学生の保護者に子どもの進学について伺ったところ、小・中学生の保護者ともに「高校まで」や「短大・高専・専門学校まで」[大学まで]と答えた方が6～7割見られる。

経済的に受けさせられないと答えた方は、「短大・高専・専門学校まで」が小・中学生の保護者ともに 10.1%、「大学まで」が小学生保護者 17.5%、中学生保護者 17.0%と割合が高くなっている。

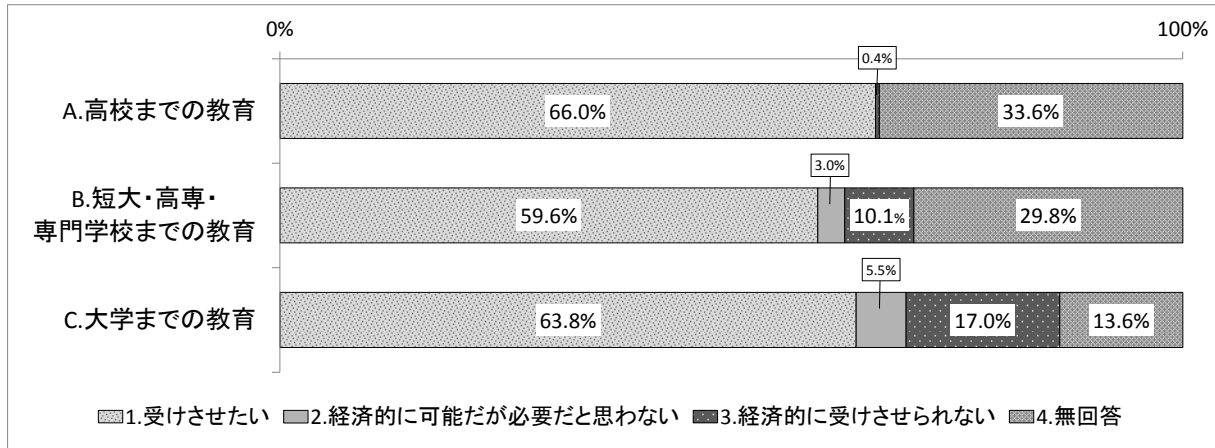
小・中学生の保護者を比べると、中学生保護者は大学を受けさせたいとする割合が減少しており、子どもの学力に応じた回答となっているものと思われる。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。

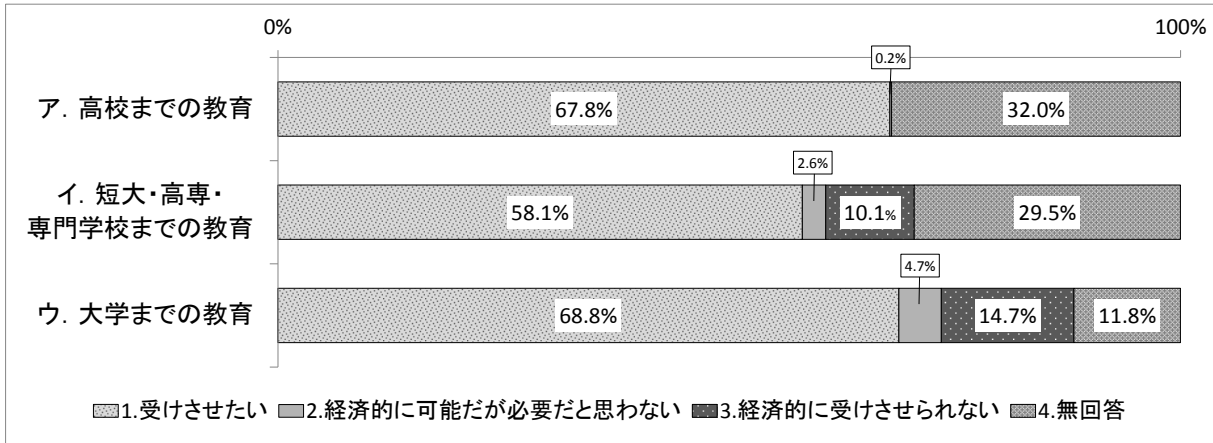
子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか（小学生：嘉手納町）



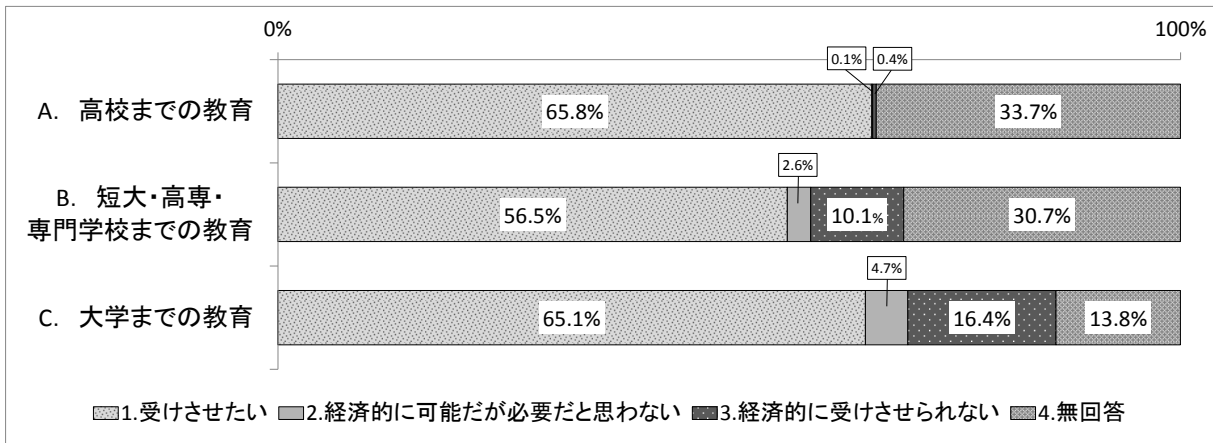
子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか（中学生：嘉手納町）



子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか（小学生：沖縄県）



子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか（中学生：沖縄県）



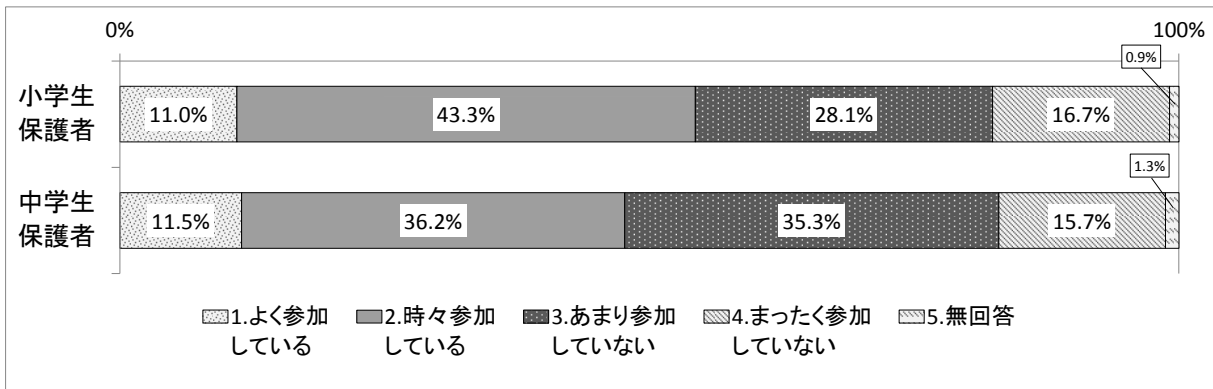
(5) 地域や社会との関係

①地域の行事に参加しているか

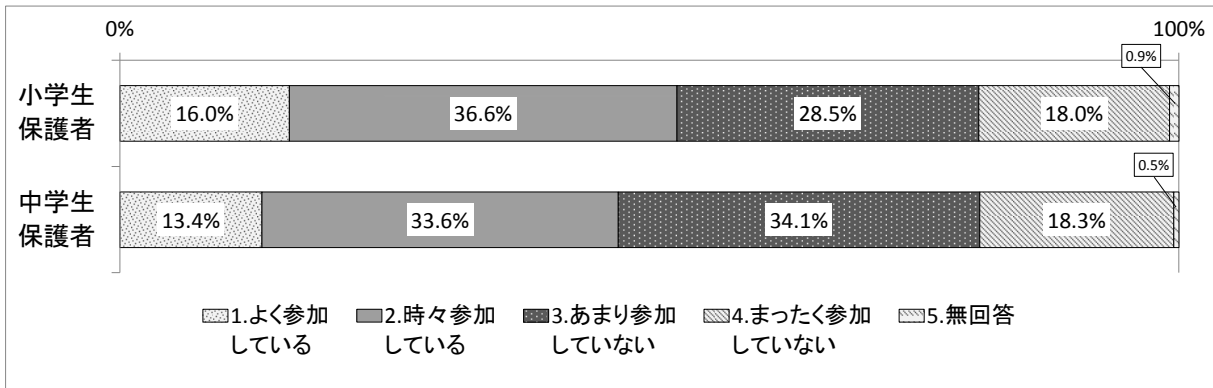
小・中学生の保護者に地域行事への参加状況を伺うと、「よく参加している」や「時々参加している」を合わせると小学生保護者 54.3%、中学生保護者 47.7%、「まったく参加しない」や「あまり参加しない」は小学生保護者 44.8%、中学生保護者 51.0%と、参加するや参加しないは5割前後と拮抗している。

小・中学生の保護者で比較すると、中学生保護者の地域行事の参加割合が低くなっている。沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。

地域の行事に参加しているか（嘉手納町）



地域の行事に参加しているか（沖縄県）

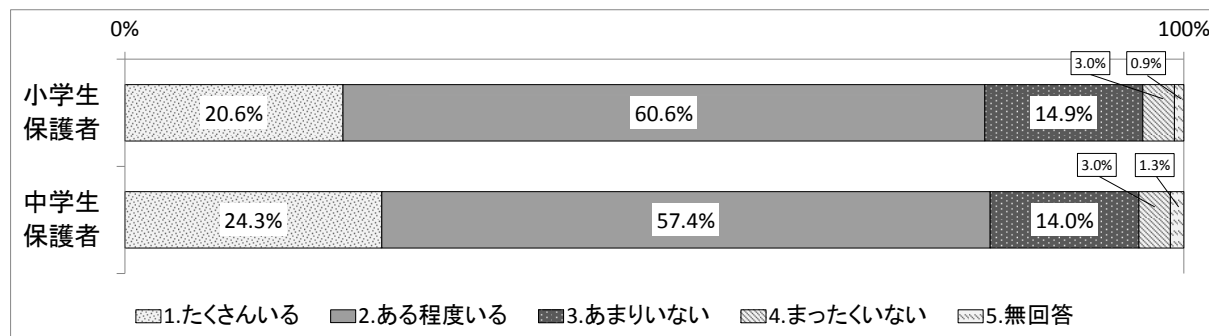


②子育てや教育の悩みを相談したり頼ったりできる友人、知人はいるか

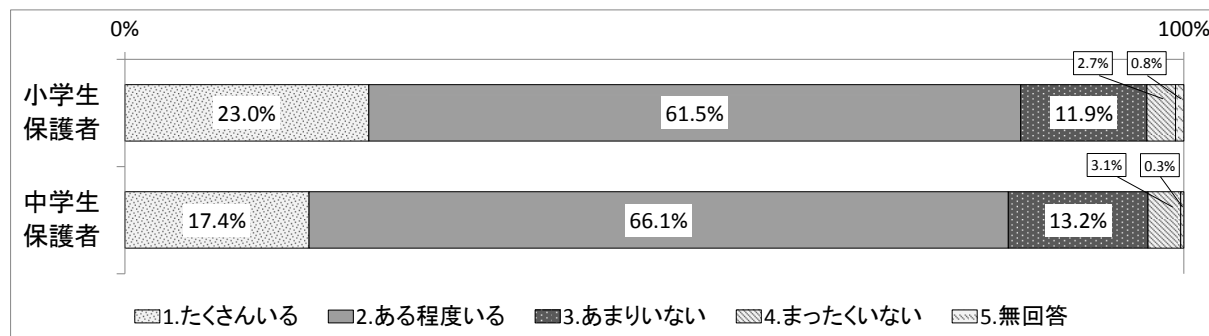
小・中学生の保護者に、子育てや教育の悩みを相談できる友人・知人の存在について伺ったところ、「たくさんいる」や「ある程度いる」と答えた方は、小・中学生の保護者ともに8割を超えている。一方で、「まったくいない」や「あまりいない」と答えた方も2割弱見られる。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。詳細を見ると、嘉手納町は、中学生保護者で「たくさんいる」と答えた割合が高くなっている。

子育てや教育の悩みを相談したり頼ったりできる友人、知人はいるか（嘉手納町）



子育てや教育の悩みを相談したり頼ったりできる友人、知人はいるか（沖縄県）

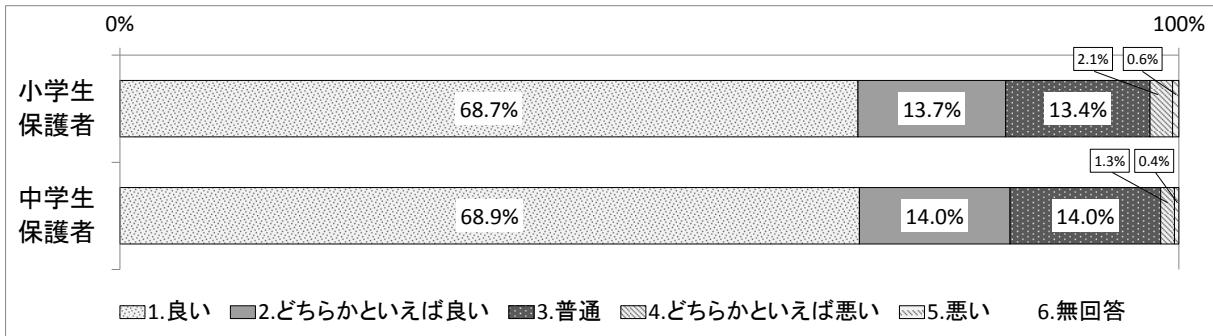


(6) 健康状態について

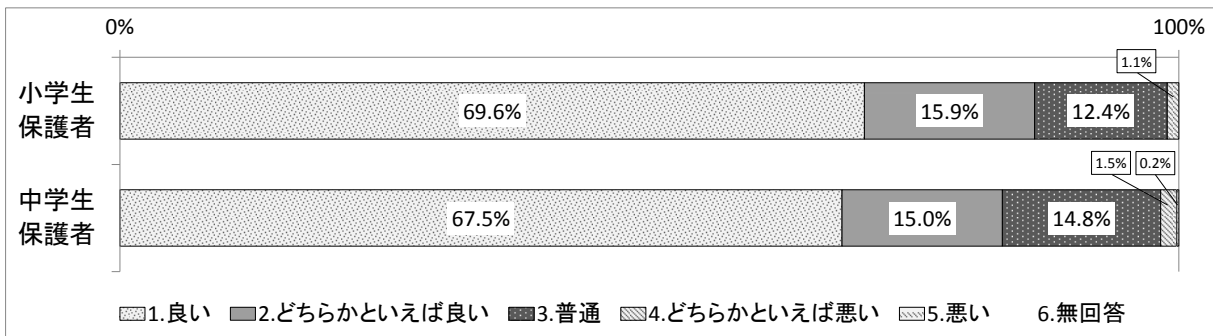
小・中学生の保護者に子どもの健康状態について伺ったところ、「良い」や「どちらかといえば良い」を合わせると、小学生保護者 82.4%、中学生保護者 82.9%と8割を超えている。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。

子どもの健康状態は良いですか（嘉手納町）



子どもの健康状態は良いですか（沖縄県）

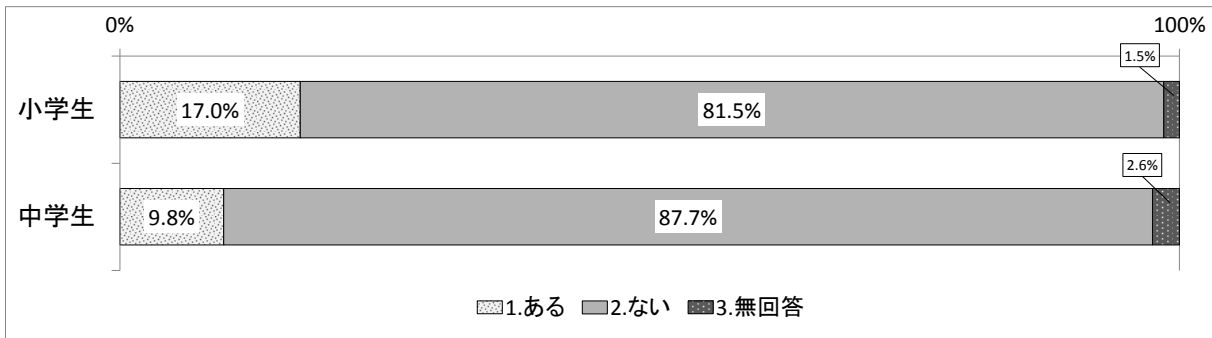


(7) 過去 1 年間で子どもを病院に受診させた方が良かったと思っただが、させなかったことはあるか

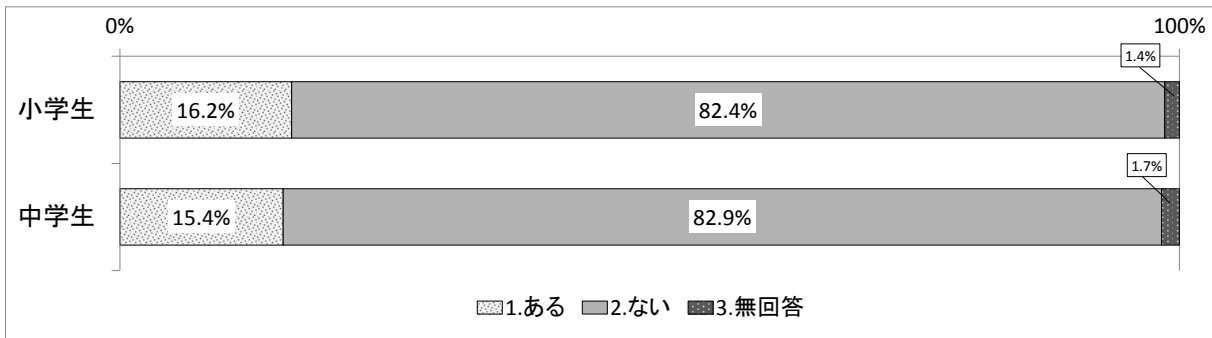
小・中学生の保護者に病院を受診させなかった経験について伺ったところ、小・中学生の保護者ともに「ない」が 8 割を超える。一方、「ある」と答えた方は小学生保護者 17.0%、中学生保護者 9.8%と小学生保護者の割合が高い。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。詳細に見ると、嘉手納町は中学生保護者で「ある」と答えた割合が低くなっている。

過去 1 年間で子どもを病院に受診させた方が良かったと思っただが、させなかったことはあるか（嘉手納町）

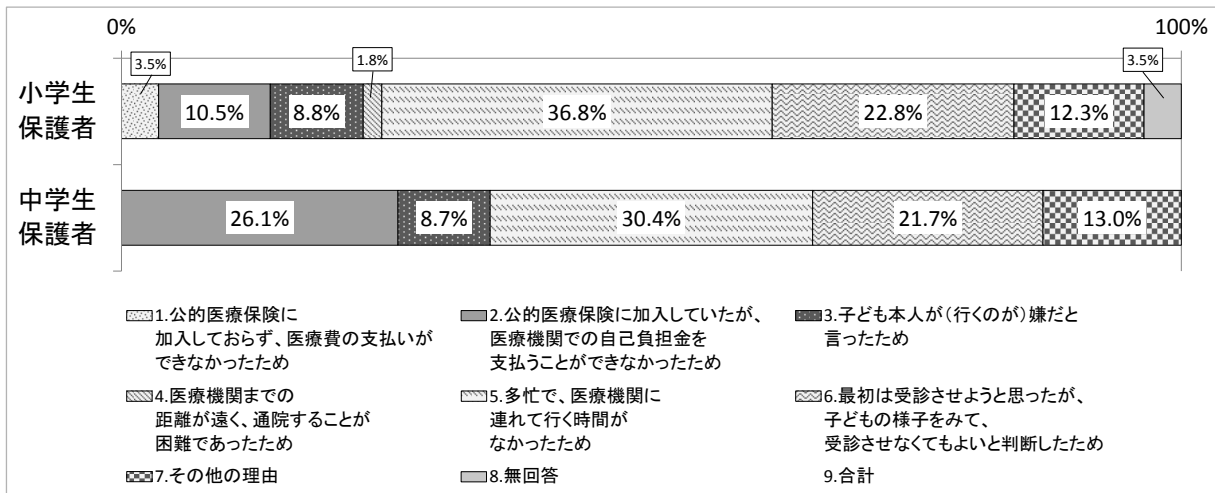


過去 1 年間で子どもを病院に受診させた方が良かったと思っただが、させなかったことはあるか（沖縄県）



病院を受診させなかった理由については、「多忙で医療機関に連れて行く時間がなかった」は小・中学生の保護者とも割合が高く、「公的医療保険に加入しているが医療機関での自己負担を支払うことができなかった」は中学生保護者の割合が高い。また、小学生保護者には、僅かではあるが公的医療保険に加入していないと答えた方もいる。

受診させなかった理由は（嘉手納町）

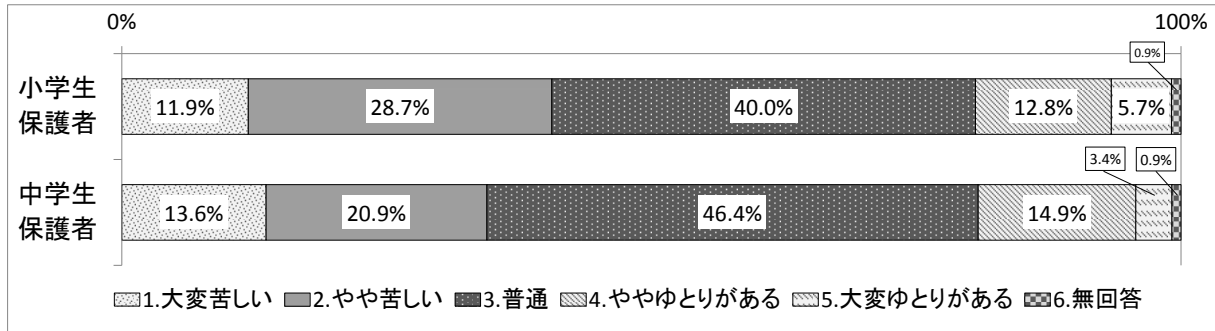


(8) あなたの15歳頃の暮らし向き

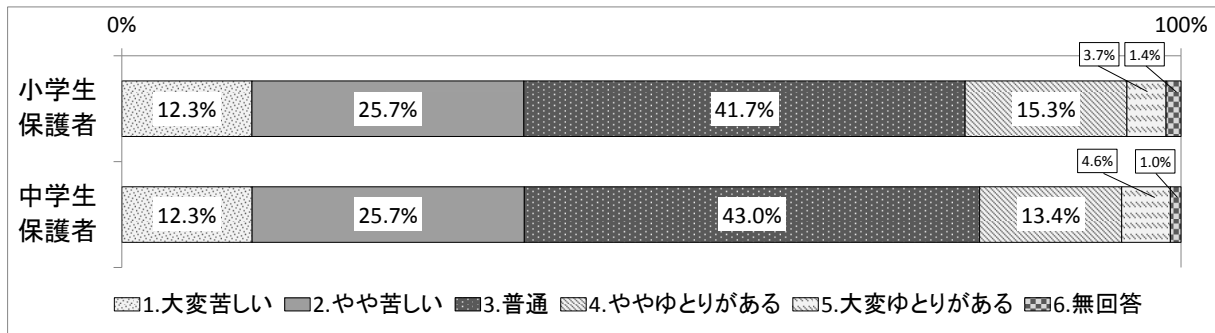
小・中学生の保護者に15歳の頃の暮らし向きを伺ったところ、「普通」と答えた方が小・中学生の保護者ともに4割台と高い。「大変苦しい」や「やや苦しい」と答えた方は、小学生保護者40.6%、中学生保護者34.5%、「大変ゆとりがある」や「ややゆとりがある」と答えた方は小学生保護者18.5%、中学生保護者18.3%となっている。

沖縄県と比較して、小・中学生の保護者ともに県と嘉手納町は同じ傾向にある。

あなたが15歳頃の家庭の暮らし向き（嘉手納町）



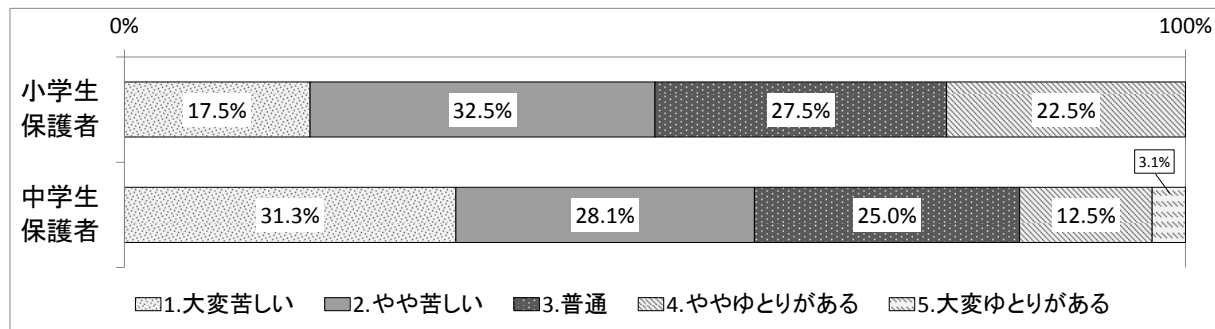
あなたが15歳頃の家庭の暮らし向き（沖縄県）



(9) あなたの現在の家庭の暮らし向き

小・中学生の保護者で、現在の暮らし向きが「大変苦しい」と答えた方の、15歳の頃の暮らし向きを確認したところ、「大変苦しい」（小学生保護者17.5%、中学生保護者31.3%）、「やや苦しい」（小学生保護者32.5%、中学生保護者28.1%）、「普通」（小学生保護者27.5%、中学生保護者25.0%）、「ややゆとりがある」（小学生保護者22.5%、中学生保護者12.5%）となっており、過去の暮らし向きと現在の暮らし向きは大きく影響しているようには見受けられない。

現在の暮らし向きが「大変苦しい」と答えた保護者の15歳頃の暮らし向き（嘉手納町）



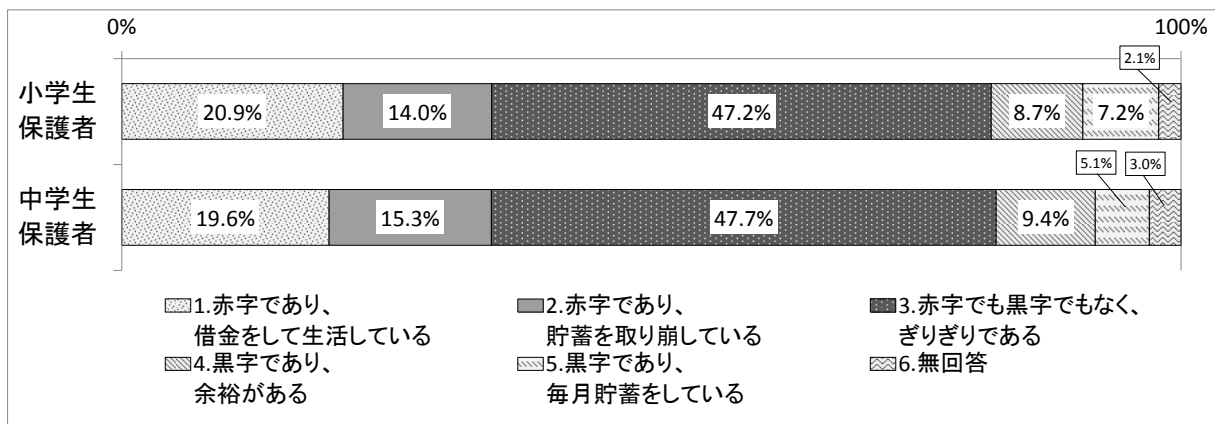
(10) あなたの家庭の家計の状況

小・中学生の保護者に家計の状況を伺ったところ、小・中学生の保護者ともに「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」と答えた割合が高く5割弱を占めている。

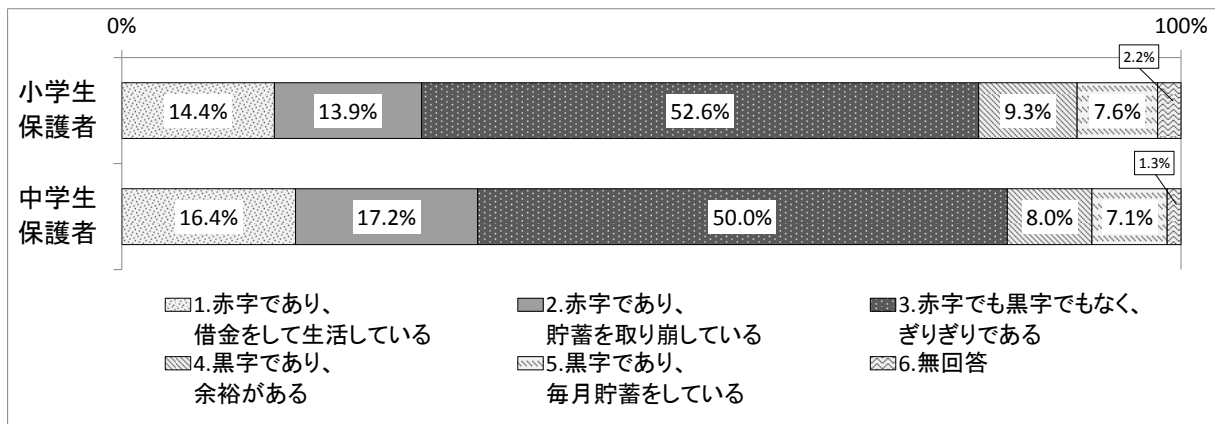
「赤字であり借金をして生活している」や「赤字であり貯蓄を取り崩している」と答えた方は、小学生保護者 34.9%、中学生保護者 34.9%、一方「黒字であり余裕がある」や「黒字であり毎月貯金をしている」と答えた方は、小学生保護者 15.9%、中学生保護者 14.5%となっており、赤字と答えた方の割合が高い。

沖縄県と比較して、嘉手納町の小学生保護者が、赤字であり借金をしているや貯蓄を取り崩していると答えた割合が県より高くなっている。

あなたの家庭の家計の状況（嘉手納町）



あなたの家庭の家計の状況（沖縄県）



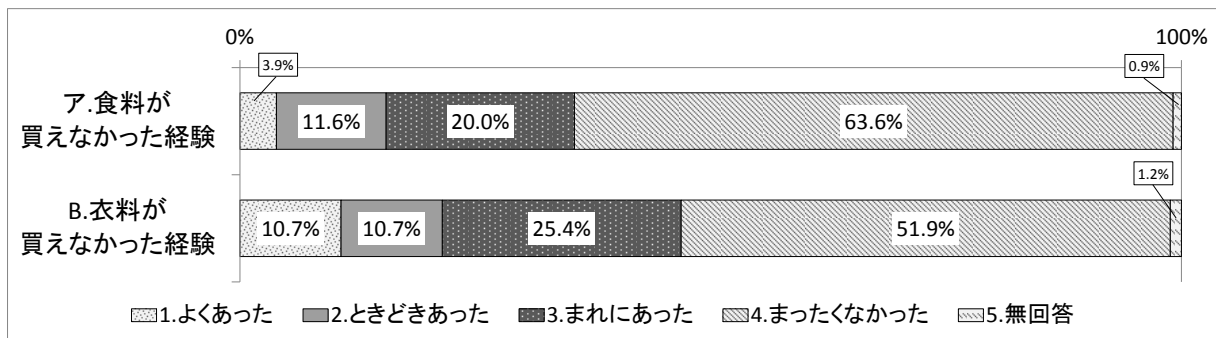
(11) 食料や衣料が買えなかった経験

小・中学生の保護者に食料や衣料が買えなかった経験について伺ったところ、「食料が買えなかった経験」では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせると、小学生保護者 35.5%、中学生保護者 28.1%となっている。「衣料が買えなかった経験」では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせると、小学生保護者 46.8%、中学生保護者 35.4%となっている。食料より衣料が買えないケースが多く、まずは食料の確保を優先したものと思われる。また、食料・衣料ともに小学生保護者より中学生保護者が買えなかった経

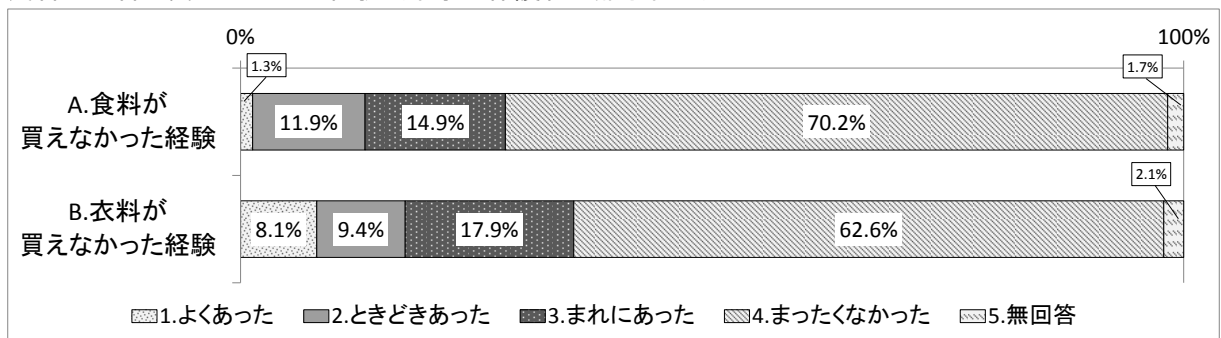
験が少ないことから、経済的なゆとりがでてきたものと思われる。

沖縄県と比較して、嘉手納町の食料・衣料ともに買えなかった経験について、小学生保護者の割合が高く、中学生保護者の割合が低くなっている。

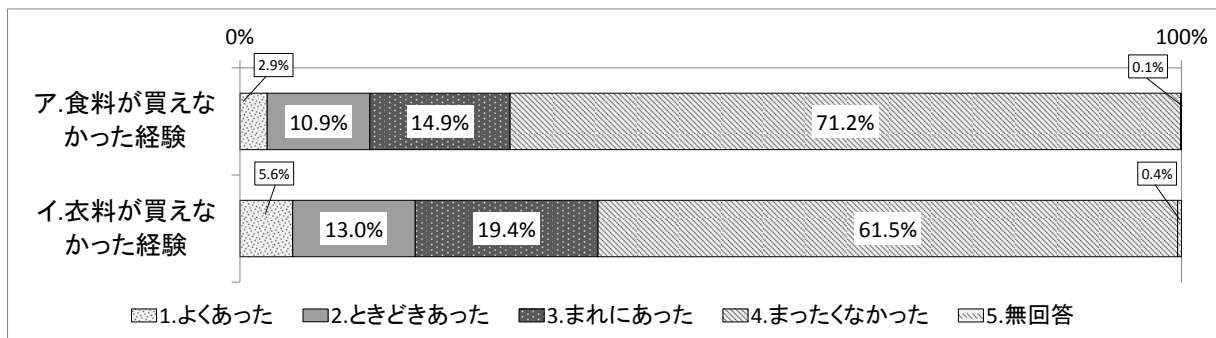
食料や衣料が買えなかった経験（小学生保護者：嘉手納町）



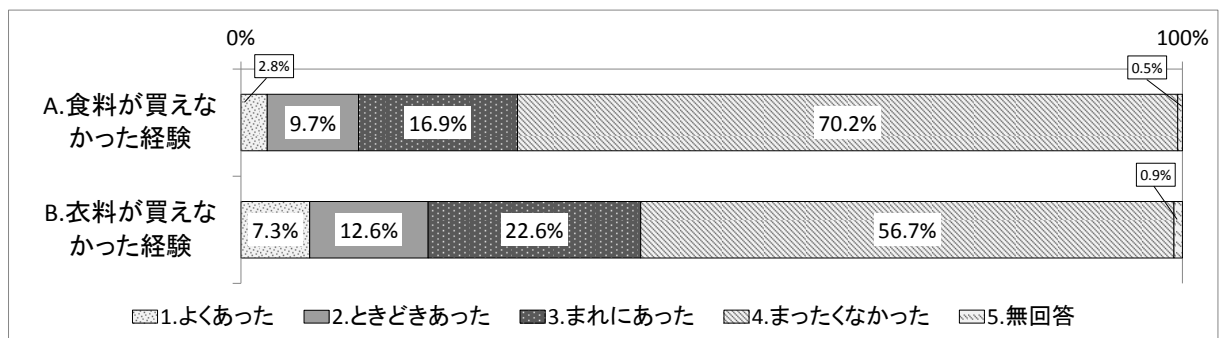
食料や衣料が買えなかった経験（中学生保護者：嘉手納町）



食料や衣料が買えなかった経験（小学生保護者：沖縄県）



食料や衣料が買えなかった経験（中学生保護者：沖縄県）

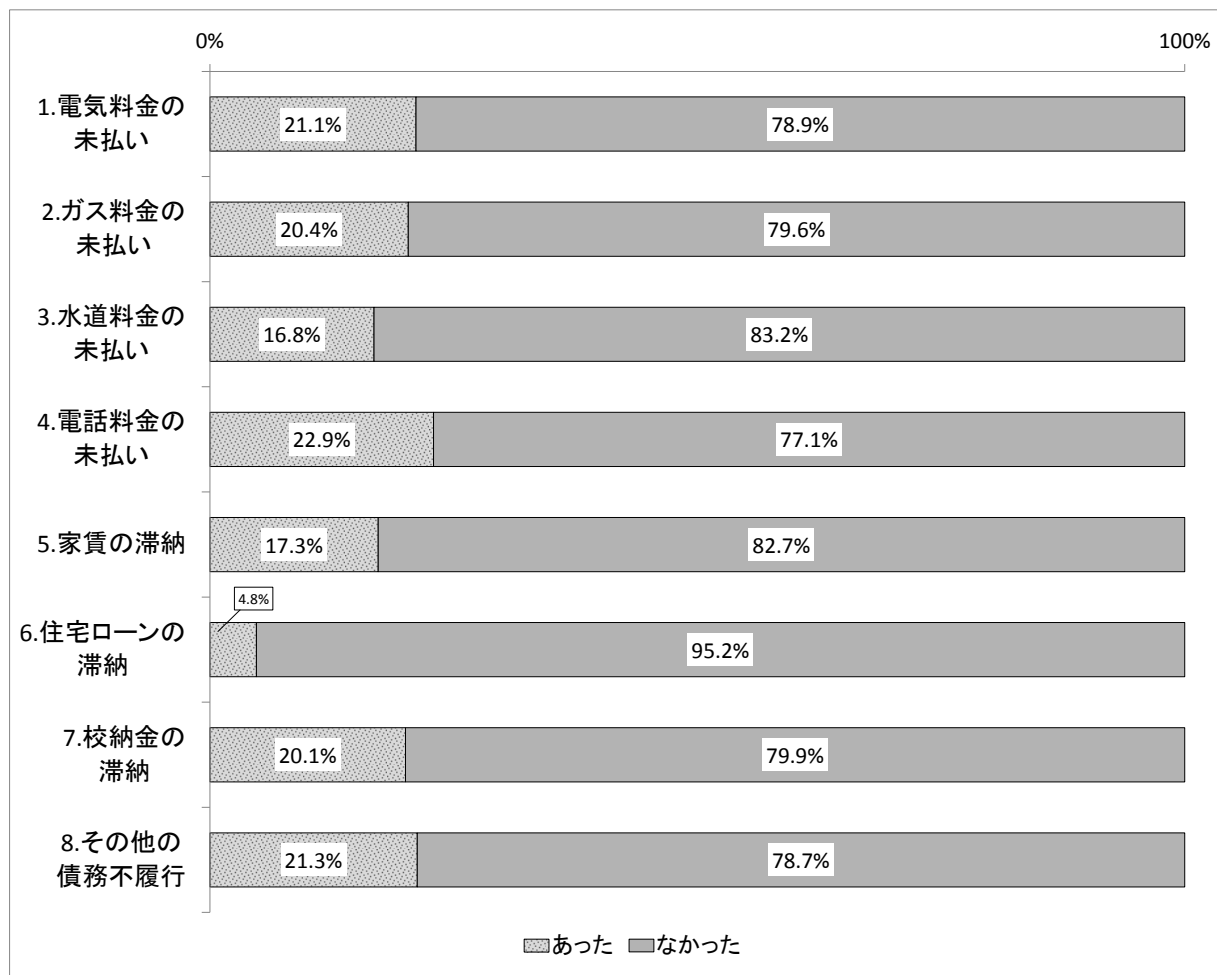


(12) 過去 1 年間で経済的な理由により月々の料金の支払いができなかったことがあるか
 〈県との比較を行うため、該当しないや無回答を母数から除き集計した〉

小・中学生の保護者に過去 1 年間で経済的な理由により月々の料金の支払いができなかった経験について伺ったところ、「なかった」と答えた方が中学生保護者は全ての 8 項目（電気、ガス、水道、電話、家賃、住宅ローン、校納金、その他債務）で 8 割を超え、小学生保護者は 3 項目（水道、家賃、住宅ローン）で 8 割を超えている。「あった」の項目で見ると中学生保護者より小学生保護者の割合が高く、小学生保護者が経済的に困窮していたことが伺える。

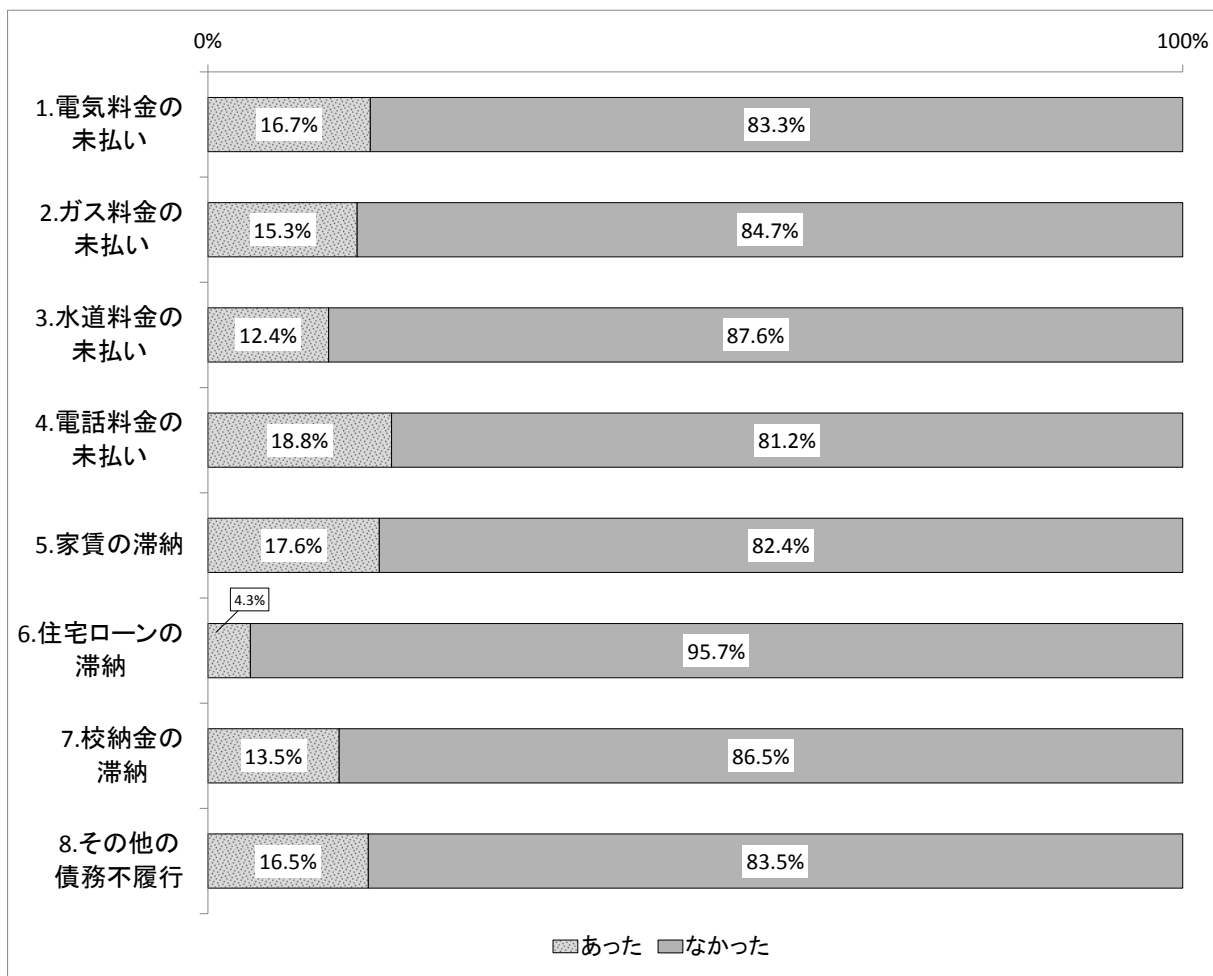
滞納があったとする世帯の割合を沖縄県と比較すると、殆どの項目において、嘉手納町が県の割合を上回っており、支払いができなかった保護者の割合が高い結果となった。

過去 1 年間で経済的な理由により月々の料金の支払いができなかったことがあるか
 （小学生保護者：嘉手納町）

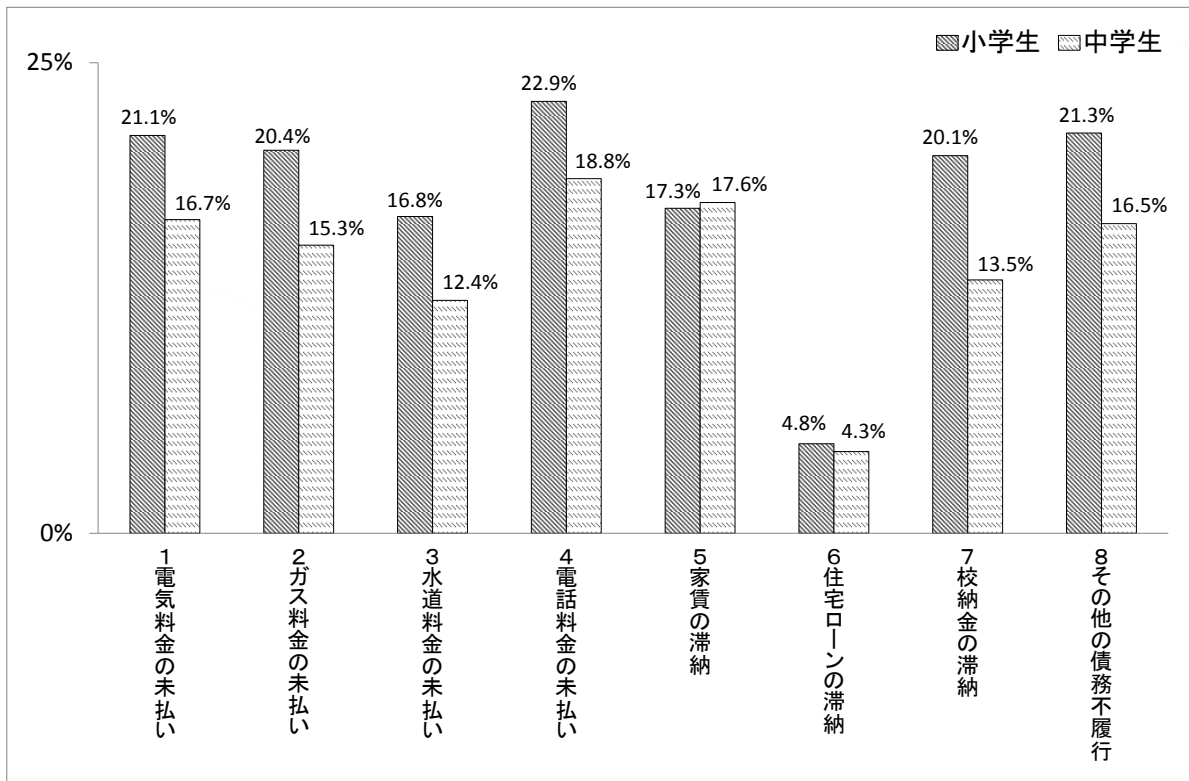


過去1年間で経済的な理由により月々の料金の支払いができなかったことがあるか

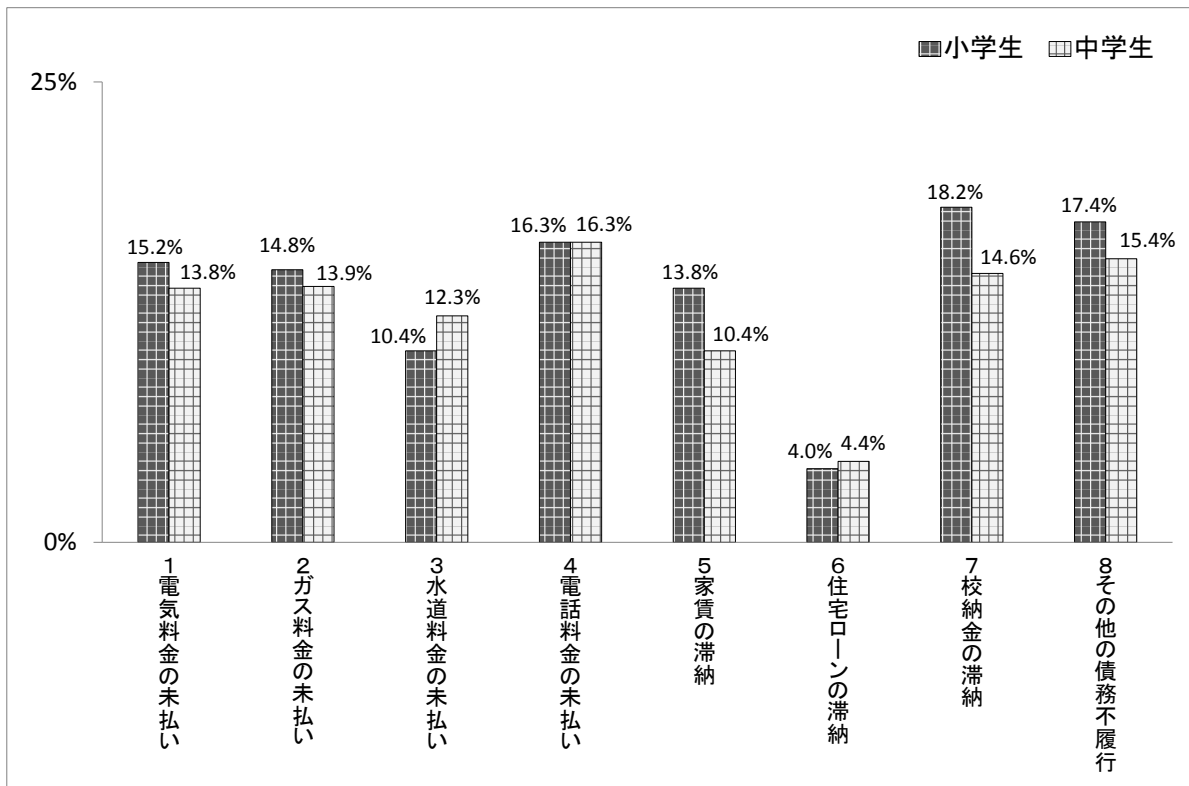
(中学生保護者：嘉手納町)



滞納があった世帯の割合（嘉手納町）



滞納があった世帯の割合（沖縄県）

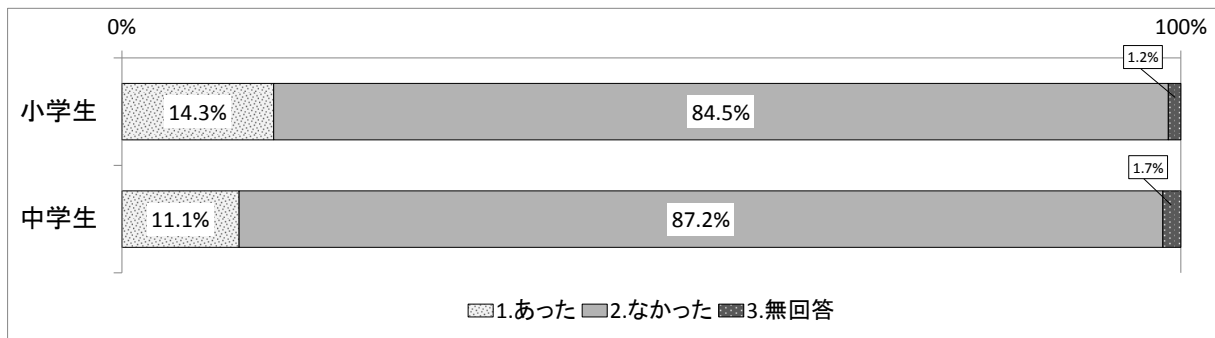


(13) 過去 10 年間に電気、ガス、水道を止められたことがあるか

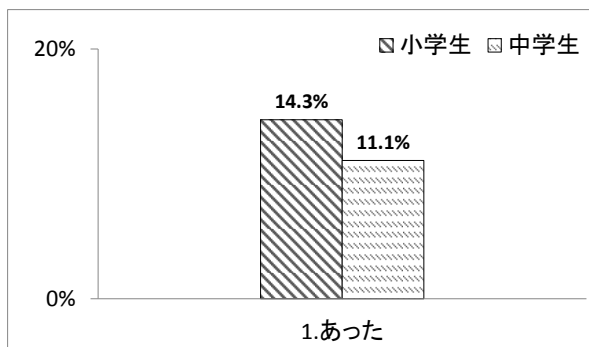
小・中学生の保護者に過去 10 年間に電気、ガス、水道を止められた経験について伺ったところ、小・中学生の保護者とも「なかった」が 8 割台を占める。しかし、「あった」と答えた方も小学生保護者 14.3%、中学生保護者 11.1%見られ、小学生保護者が若干高く生活が困窮していることが伺える。

沖縄県と比較して、嘉手納町の小・中学生の保護者ともに「あった」と答えた割合が高く、県より生活困窮者の割合が高いものと思われる。

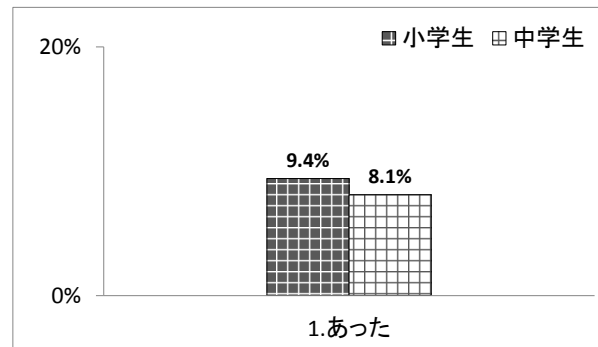
過去 10 年間に電気、ガス、水道を止められたことがあるか（嘉手納町）



あったと答えた世帯の割合（嘉手納町）



あったと答えた世帯の割合（沖縄県）



4. 嘉手納町子ども調査に関する考察

嘉手納町こども実態調査は、町内の屋良小学校及び嘉手納小学校の4・5・6年生全員、嘉手納中学校1・2・3年生全員とその保護者を対象に、子どもの家庭や学校における生活状況や、保護者の子育てに対する取組などを経済的背景を踏まえ調査したもので、県の「沖縄子ども調査」と比較し、嘉手納町の実態を把握したものである。

以下に、小・中学生や保護者の調査結果を踏まえた考察を行う。

(1) 小・中学生

1) 家庭生活について

「ひとりで食事をする」孤食が社会問題として取り上げられて数十年になるが、孤食による問題は、身体の健全な育成のみでなく子どもの情緒安定にも影響を与えているといわれている。食事は親との共有の時間を過ごし、学校であったさまざまな話をする貴重な時間であり、家族の絆やコミュニケーション能力を育む場でもある。

嘉手納町の「ひとりで食事をする」子どもは夕食より朝食が多く、共働き世帯が多いことに一因があるものと思われる。また、平日より休日に孤食が多くなる傾向にあることから、単に仕事による時間のずれ違いの問題だけではないことが伺える。

夫婦共働きの多い沖縄県において、家族による食事の機会は少ない傾向にあるものと思われる。今回のアンケートで、平日の夜に家族（親）で食事をする機会は嘉手納町約7割に対し、沖縄県約8割と、嘉手納町は家族で食事をする機会が県より低い傾向にある。

2) 学校生活について

学校生活の「楽しみ」について、「とても楽しい」が過半数を超えたものに「学校の休み時間」「学校の友だちに会うこと」「学校給食」が小・中学生の共通項目にあがっている。一方、「楽しみではない」との回答が多いものは「学校の先生に会うこと」「学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道以外の授業」「学校の部活」の割合が高くなっている。

特に、授業の理解については、「いつもわからない」や「ときどきわからない」と答えた子どもは小学生が約5割、中学生は7割強と授業についていけない子どもが多く存在することが伺える。

小・中学生の自分への肯定感について、「とてもそう思う」や「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答が小・中学生とも7割を超えたものは、「自分は家族に大切にされている」「自分の将来が楽しみだ」「がんばればむくわれる」となっている。

一方、「そう思わない」と否定的な回答が多い項目は「自分は価値のある人間だと思う」「不安に感じることはない」「孤独を感じることはない」の割合が高くなっている。

なお、自由意見には、授業の進め方や学校生活（“いじめ”などに関する切実な悩み）についての不満が具体的に記載されており、こうした子どもの声に耳をかたむける必要がある。

(2) 保護者

保護者の考察については、世帯収入（母親の収入、父親の収入）との関係で分析を行うものとする。

1) 家族構成

家族構成は小・中学生とも同じ傾向にあり、「核家族（両親と子供）」約 66.0%、次いで「片親（母親と子供）」17.0%と母子家庭が多くみられる。母子家庭が多いことにより、経済的に困窮している世帯も相当数いるものと思われる。


2) 保護者の収入（家族構成別）

家族構成、特に数の多い「核家族」と「母子家庭」の世帯年収（手取り）を比較してみる。世帯年収とは、会社員の給料や自営業等の事業所得、不動産所得や利子・配当金、その他公的年金、社会保障給付金など、家族構成員全ての方が手にする金額のうち、税金や社会保険料等を差し引いた額である。


世帯の約 66.0%を占める「核家族」の年収は、「300～500 万未満」（小学生保護者 38.7%、中学生保護者 44.5%）と「500～700 万未満」（小学生保護者 18.5%、中学生保護者 20.6%）で過半数を超えている。一方、世帯の 17.0%を占める「母子家庭」は「200 万未満」（小学生保護者 40.4%、中学生保護者 40.0%）と「200～300 万未満」（小学生保護者 21.1%、中学生保護者 25.0%）で過半数を超えている。

核家族は、夫婦共働きの可能性が高く世帯年収が上がる傾向にあるものの、一方で世帯人員も多くなる。収入区分でみると母子家庭は 0～300 万円未満が多く、核家族は 300～700 万円未満が多いなど約 2 倍以上の収入があり、安定した生活が送れているものと思われる。

なお、母子家庭で最も多い収入区分は 200 万未満であり、収入面で相当厳しい世帯もあるものと思われる。

小学生保護者（構成比の 1 位と 2 位に  印を表記）

		世帯収入5分類						合計
		200万未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700万円以上	無回答	
世帯類型	母子家庭	23 40.4%	12 21.1%	8 14.0%	1 1.8%	0 0.0%	13 22.8%	57 100.0%
	核家族	5 2.3%	27 12.2%	86 38.7%	41 18.5%	20 9.0%	43 19.4%	222 100.0%
	その他	7 15.6%	7 15.6%	12 26.7%	6 13.3%	1 2.2%	12 26.7%	45 100.0%
	無回答	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 54.5%	11 100.0%
	合計	36 10.7%	49 14.6%	107 31.9%	48 14.3%	21 6.3%	74 22.1%	335 100.0%

中学生保護者（構成比の 1 位と 2 位に  印を表記）

		世帯収入5分類						合計
		200万未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700万円以上	無回答	
世帯類型	母子家庭	16 40.0%	10 25.0%	4 10.0%	1 2.5%	2 5.0%	7 17.5%	40 100.0%
	核家族	6 3.9%	10 6.5%	69 44.5%	32 20.6%	6 3.9%	32 20.6%	155 100.0%
	その他	3 9.7%	6 19.4%	10 32.3%	3 9.7%	1 3.2%	8 25.8%	31 100.0%
	無回答	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	4 44.4%	9 100.0%
	合計	26 11.1%	26 11.1%	85 36.2%	37 15.7%	10 4.3%	51 21.7%	235 100.0%


3) 保護者収入と学歴（父親・母親別）










保護者の収入を父親・母親別及び最終学歴別にみると、「母親」は学歴に関わらず、年収「200万未満」が1位となっている。ただし、学歴が高くなるのに従い「200万未満」の割合は低くなっている。一方、「父親」は学歴が高くなるのに比例し年収も高くなる傾向にある。


母親も高学歴になるに従い、年収は上がる傾向にあるが、父親に比べその差は明確である。その要因には、子育ての多くを母親が担い仕事の面で十分活躍できない等、様々な問題があるが、女性の社会進出を促すうえで各方面の対策が求められる。

小学生保護者：母親（構成比の1位に  印を表記）


		母親の年間収入5分類						合計
		200万未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700万円以上	無回答	
母親の最終学歴	中学校	17  81.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 19.0%	21 100.0%
	高校	73  63.5%	8 7.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	33 28.7%	115 100.0%
	各種専門学校 (高校卒業後)	54  64.3%	9 10.7%	5 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 19.0%	84 100.0%
	短大・高専	31  55.4%	11 19.6%	5 8.9%	1 1.8%	0 0.0%	8 14.3%	56 100.0%
	大学(4年制)・大学院	16  42.1%	7 18.4%	8 21.1%	2 5.3%	2 5.3%	3 7.9%	38 100.0%
	その他	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%
	無回答	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	7 100.0%
	合計	196 60.1%	36 11.0%	20 6.1%	3 0.9%	2 0.6%	69 21.2%	326 100.0%











小学生保護者：父親（構成比の1位と2位に  印を表記）

		父親の年間収入5分類						合計
		200万未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700万円以上	無回答	
父親の最終学歴	中学校	4 19.0%	8  38.1%	5  23.8%	1 4.8%	0 0.0%	3 14.3%	21 100.0%
	高校	19 17.6%	36  33.3%	30  27.8%	2 1.9%	0 0.0%	21 19.4%	108 100.0%
	各種専門学校 (高校卒業後)	8 12.5%	17  26.6%	20  31.3%	4 6.3%	0 0.0%	15 23.4%	64 100.0%
	短大・高専	1 11.1%	1 11.1%	3  33.3%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	9 100.0%
	大学(4年制)・大学院	4 7.5%	7 13.2%	17  32.1%	8  15.1%	4 7.5%	13 24.5%	53 100.0%
	その他	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	5 100.0%
	合計	36 13.6%	71 26.9%	78 29.5%	15 5.7%	5 1.9%	59 22.3%	264 100.0%

中学生保護者：母親（構成比の1位に  印を表記）

		母親の年間収入5分類						合計
		200万未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700万円以上	無回答	
母親の最終学歴	中学校	7  63.6%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	11 100.0%
	高校	53  62.4%	5 5.9%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	26 30.6%	85 100.0%
	各種専門学校 (高校卒業後)	45  62.5%	8 11.1%	4 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	15 20.8%	72 100.0%
	短大・高専	23  62.2%	6 16.2%	4 10.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.8%	37 100.0%
	大学(4年制)・大学院	6  42.9%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	14 100.0%
	その他	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	無回答	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	6 100.0%
	合計	136 60.2%	23 10.2%	12 5.3%	1 0.4%	0 0.0%	54 23.9%	226 100.0%

中学生保護者：父親（構成比の1位と2位に  印を表記）







		父親の年間収入5分類						合計
		200万未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700万円以上	無回答	
父親の最終学歴	中学校	5 23.8%	5  23.8%	7  33.3%	1 4.8%	1 4.8%	2 9.5%	21 100.0%
	高校	10 14.5%	24  34.8%	17  24.6%	1 1.4%	2 2.9%	15 21.7%	69 100.0%
	各種専門学校 (高校卒業後)	6 14.6%	13  31.7%	16  39.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 14.6%	41 100.0%
	短大・高専	0 0.0%	3  23.1%	9  69.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
	大学(4年制)・大学院	2 6.3%	3 9.4%	10  31.3%	7  21.9%	1 3.1%	9 28.1%	32 100.0%
	その他	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	6 100.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	5 100.0%
	合計	25 13.4%	49 26.2%	60 32.1%	11 5.9%	4 2.1%	38 20.3%	187 100.0%

4) 親の学歴と子どもの進学希望（父親、母親別）







親の学歴と子どもに望む学歴（大学進学）との関係を見ると、父親・母親ともに親の学歴に関わらず「大学を受けさせたい」が1位となっており、親が高学歴になるほどその割合は高くなる傾向にある。一方で、「経済的に受けさせられない」と答えた親は中学校卒が最も多いが、学歴が低くなるに従いその割合は高くなっている。


親の学歴によって、子どもの進学への影響が伺えるが、経済的な問題を解決できれば子どもの進学の可能性は高まるものと思われる。経済的理由によって進学をあきらめている子どもへの支援は重要であり、学歴と収入の関係性からも明らかである。

小学生保護者：母親（構成比の1位に 印を表記）


		大学までの教育				合計
		受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答	
母親の最終学歴	中学校	9  42.9%	2 9.5%	9  42.9%	1 4.8%	21 100.0%
	高校	79  68.7%	2 1.7%	21 18.3%	13 11.3%	115 100.0%
	各種専門学校(高校卒業後)	59  70.2%	5 6.0%	16 19.0%	4 4.8%	84 100.0%
	短大・高専	46  82.1%	0 0.0%	8 14.3%	2 3.6%	56 100.0%
	大学(4年制)・大学院	36  94.7%	1 2.6%	1 2.6%	0 0.0%	38 100.0%
	その他	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	無回答	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	7 100.0%
	合計	236 72.4%	11 3.4%	57 17.5%	22 6.7%	326 100.0%

小学生保護者：父親（構成比の1位に 印を表記）

		大学までの教育				合計
		受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答	
父親の最終学歴	中学校	10  47.6%	1 4.8%	7  33.3%	3 14.3%	21 100.0%
	高校	83  76.9%	1 0.9%	16 14.8%	8 7.4%	108 100.0%
	各種専門学校(高校卒業後)	48  75.0%	4 6.3%	8 12.5%	4 6.3%	64 100.0%
	短大・高専	7  77.8%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	9 100.0%
	大学(4年制)・大学院	48  90.6%	2 3.8%	2 3.8%	1 1.9%	53 100.0%
	その他	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	5 100.0%
	合計	200 75.8%	10 3.8%	35 13.3%	19 7.2%	264 100.0%

中学生保護者：母親（構成比の1位に  印を表記）


		大学までの教育				合計
		受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答	
母親の最終学歴	中学校	4 36.4%	2 18.2%	4 36.4%	1 9.1%	11 100.0%
	高校	44 51.8%	5 5.9%	18 21.2%	18 21.2%	85 100.0%
	各種専門学校 (高校卒業後)	48 66.7%	3 4.2%	16 22.2%	5 6.9%	72 100.0%
	短大・高専	30 81.1%	2 5.4%	2 5.4%	3 8.1%	37 100.0%
	大学(4年制)・大学院	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%
	その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	無回答	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	6 100.0%
	合計	143 63.3%	13 5.8%	40 17.7%	30 13.3%	226 100.0%

中学生保護者：父親（構成比の1位に  印を表記）


		大学までの教育				合計
		受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答	
父親の最終学歴	中学校	9 42.9%	3 14.3%	4 19.0%	5 23.8%	21 100.0%
	高校	46 66.7%	4 5.8%	14 20.3%	5 7.2%	69 100.0%
	各種専門学校 (高校卒業後)	30 73.2%	1 2.4%	5 12.2%	5 12.2%	41 100.0%
	短大・高専	9 69.2%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
	大学(4年制)・大学院	27 84.4%	0 0.0%	2 6.3%	3 9.4%	32 100.0%
	その他	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	6 100.0%
	無回答	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	5 100.0%
	合計	127 67.9%	10 5.3%	28 15.0%	22 11.8%	187 100.0%

5) 保護者収入と家計

世帯収入と家計の状況についてみると、「赤字である」と回答した保護者の割合は年収が少ないほど高く、「黒字である」と回答した保護者の割合は年収が多いほど高くなる傾向にある。一方、「赤字でもなく黒字でもなく、ぎりぎりである」と答えた方は、年収によらず一定程度存在しており、世帯人員やライフステージ（子育てにお金がかかる時期など）、ライフスタイルなど幾つかの要因があると考えられる。

小学生保護者（構成比の1位と2位に  印を表記）

世帯収入	通常の家計状況						無回答	合計
	赤字であり、借金をして生活している	赤字であり、貯蓄を取り崩している	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	黒字であり、余裕がある	黒字であり、毎月貯蓄をしている			
200万未満	16 44.4%	7 19.4%	12 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%	
200～300万円未満	15 30.6%	13 26.5%	21 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	49 100.0%	
300～500万円未満	23 21.5%	16 15.0%	51 47.7%	9 8.4%	8 7.5%	0 0.0%	107 100.0%	
500～700万円未満	0 0.0%	0 0.0%	29 60.4%	10 20.8%	8 16.7%	1 2.1%	48 100.0%	
700万円以上	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	6 28.6%	8 38.1%	0 0.0%	21 100.0%	
無回答	15 20.3%	10 13.5%	40 54.1%	4 5.4%	0 0.0%	5 6.8%	74 100.0%	
合計	70 20.9%	47 14.0%	158 47.2%	29 8.7%	24 7.2%	7 2.1%	335 100.0%	

中学生保護者（構成比の1位と2位に  印を表記）

世帯収入	通常の家計状況						無回答	合計
	赤字であり、借金をして生活している	赤字であり、貯蓄を取り崩している	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	黒字であり、余裕がある	黒字であり、毎月貯蓄をしている			
200万未満	11 42.3%	6 23.1%	7 26.9%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	26 100.0%	
200～300万円未満	8 30.8%	6 23.1%	12 46.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%	
300～500万円未満	13 15.3%	14 16.5%	49 57.6%	7 8.2%	2 2.4%	0 0.0%	85 100.0%	
500～700万円未満	2 5.4%	3 8.1%	38 48.6%	6 16.2%	7 18.9%	1 2.7%	37 100.0%	
700万円以上	1 10.0%	0 0.0%	5 50.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	10 100.0%	
無回答	11 21.6%	7 13.7%	21 41.2%	6 11.8%	1 2.0%	5 9.8%	51 100.0%	
合計	46 19.6%	36 15.3%	112 47.7%	22 9.4%	12 5.1%	7 3.0%	235 100.0%	

6) 保護者収入と子どもにしてあげていること

保護者の収入と子どもの学校以外の教育費にける金額の関係をみると、小学生保護者は年収に比例して教育費にける金額が高くなる傾向にある。一方、中学生保護者は、少ない年収でも子どもの教育費を確保する動きが見れる。

小学生保護者（構成比の1位と2位に印を表記）

世帯収入	1ヶ月あたり学校外教育費										合計
	支出はまったくない	5千円未満	5万円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円～2万5千円未満	2万5千円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円以上	無回答	
200万未満	18 50.0%	8 22.2%	2 5.6%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%	4 11.1%	36 100.0%
200～300万円未満	11 22.4%	13 26.5%	8 16.3%	10 20.4%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	49 100.0%
300～500万円未満	26 24.3%	23 21.5%	21 19.6%	19 17.8%	10 9.3%	0 0.0%	4 3.7%	1 0.9%	0 0.0%	3 2.8%	107 100.0%
500～700万円未満	4 8.3%	9 18.8%	12 25.0%	10 20.8%	4 8.3%	2 4.2%	2 4.2%	2 4.2%	2 4.2%	1 2.1%	48 100.0%
700万円以上	1 4.8%	4 19.0%	1 4.8%	7 33.3%	5 23.8%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
無回答	19 25.7%	11 14.9%	6 8.1%	11 14.9%	3 4.1%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	22 29.7%	74 100.0%
合計	79 23.6%	68 20.3%	50 14.9%	58 17.3%	27 8.1%	6 1.8%	8 2.4%	4 1.2%	5 1.5%	30 9.0%	335 100.0%

中学生保護者（構成比の1位と2位に印を表記）

世帯収入	1ヶ月あたり学校外教育費									合計
	支出はまったくない	5千円未満	5万円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円～2万5千円未満	2万5千円～3万円未満	3万円～5万円未満	無回答	
200万未満	12 46.2%	1 3.8%	0 0.0%	4 15.4%	4 15.4%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%	26 100.0%
200～300万円未満	9 34.6%	2 7.7%	4 15.4%	4 15.4%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	3 11.5%	2 7.7%	26 100.0%
300～500万円未満	25 29.4%	13 15.3%	7 8.2%	8 9.4%	14 16.5%	8 9.4%	8 9.4%	0 0.0%	2 2.4%	85 100.0%
500～700万円未満	8 21.6%	3 8.1%	4 10.8%	4 10.8%	3 8.1%	3 8.1%	7 18.9%	5 13.5%	0 0.0%	37 100.0%
700万円以上	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
無回答	11 21.6%	5 9.8%	4 7.8%	2 3.9%	6 11.8%	3 5.9%	3 5.9%	1 2.0%	16 31.4%	51 100.0%
合計	66 28.1%	26 11.1%	19 8.1%	22 9.4%	30 12.8%	17 7.2%	23 9.8%	10 4.3%	22 9.4%	235 100.0%